

令和 2 年 度

(2020年度)

事 務 概 要 書

吹 田 市 保 健 所

目 次

第1	沿革	1
第2	市の概要	3
第3	主たる事務所の付近見取り図	5
第4	敷地及び庁舎・施設平面図	6
第5	組織表	7
第6	現員表	7
第7	事務分掌	10
第8	主要事業の概要	12
第9	事務事業執行概要	25
第10	活動の指標	32

【保健医療室 事務概要】

1	医事関係事務	33
2	薬事関係指導業務	35
3	医療相談	36
4	医療機関の立入検査及び実地指導等	36
5	薬事関係監視指導	37
6	薬事関連啓発事業	38
7	その他薬事関連業務	38
8	保健所運営協議会	39
9	豊能薬事懇話会	39
10	豊能地域救急メディカルコントロール協議会	40
11	病院連絡会	42
12	豊能心血管疾患地域医療連携推進会議	42
13	吹田市医療審議会	43
14	吹田市地域医療推進懇談会	43
15	吹田市地域医療推進市民講演会	44
16	豊能二次医療圏救急医療対策事業	44
17	豊能広域こども急病センター事業	45
18	地域のネットワーク会議等	45
19	健康危機管理に対する取組	47
20	統計事務	48
21	保健所業務の総合調整	48
22	施設設備の管理及び整備	49
23	保健衛生関係の表彰	49
24	厚生労働統計関係の表彰	50
25	研修及び実習指導関係	50

【衛生管理課 事務概要】

1 食品衛生	51
2 環境衛生	58
3 狂犬病予防・動物愛護管理	63

【地域保健課 事務概要】

1 結核予防	64
2 感染症予防	67
3 性感染症予防	68
4 生活習慣病予防	69
5 母子保健	70
6 精神保健	71
7 難病対策	73
8 放射線業務	74

【健康まちづくり室 事務概要】

栄養改善指導	76
--------	----

〔※健康まちづくり室は、保健所組織ではありませんが、健康まちづくり室が実施している吹田市健康増進法施行細則にかかる業務のうち、保健所長の権限に属する業務のみを記載しています。〕

保健センターの事務概要につきましては、別冊「保健センターの事業概要」に掲載しています。

第1 沿革

【大阪府吹田保健所】 昭和19年10月～令和2年3月31日

- 昭和19.10.1 結核予防を主目的として設置されていた吹田健康相談所を廃止し、あらたに吹田東・西保健所が設置され、吹田市を二分して担当することになり結核予防、母子衛生、衛生教育などを主とする保健指導機関として発足した。
当所は、このうちの西保健所の発展したものである。
- 21.10.8 吹田東保健所が廃止されたので、同所の管轄区域も西保健所が吸収し全市を担当することになった。
- 23.12.1 従来、隣接茨木保健所の管轄下にあった三島郡味舌村、山田村、味生村及び新田村の4ヶ所が移管され、担当地区に加えられた。
「保健所長に権限を委任する規則」（大阪府規則第74号）が施行され保健衛生業務に関する知事の権限の一部が委譲された。
- 24.4.1 廨の指定をうけた。
- 24.9.1 大阪府吹田保健所と改称された。
- 26.7.1 庁舎が完成したので吹田市東旭町1329番地に移転し、人員の増強とともに業務内容も整備拡充され、名実兼備の保健所となった。
管轄地区のうち味舌村が町制をしいたため、1市1町3村となった。
- 28.7.1 管轄地区のうち新田村が分村し、大字上新田は豊中市に、大字下新田は吹田市に吸収合併されたため、1市1町2村となった。
- 30.10.15 管轄地区のうち山田村が吹田市に吸収合併されたため、1市1町1村となった。
- 31.10.1 管轄地区のうち味舌町、味生村と従来茨木保健所管内の鳥飼村とが吸収合併して三島町が発足し当所の管内に属したため、1市1町となった。
- 32.7.1 茨木市の一部（旧三宅村の一部）が三島町に編入された。
- 35.11.17 山田保健婦駐在所を設置した。
- 35.12.19 三島保健婦駐在所を設置した。
- 36.10.30 鉄筋コンクリート造り新館の増築と旧本館の改築並びに補修工事が完成した。
- 37.9.15 吹田市千里丘陵の開発造成による当該住宅地区への入居が開始された。
(C地区—佐竹台)
- 37.11.1 佐竹台保健婦駐在所を設置した。
- 38.5.1 吹田市の町名地番の一部変更により当所の所在地が吹田市東旭町1329番地から吹田市高浜町10番12号に変わった。
- 39.10.13 保健所開設20周年記念式典を挙行了した。
- 40.5.25 古江台保健婦駐在所を設置した。
- 41.3.25 本館の増改築工事が竣工した。
- 41.4.1 当所の規格はU2型と格付けされた。
- 41.11.1 管轄地区のうち三島町が摂津市として発足したため、当所の管内は2市となった。
- 47.4.1 摂津（三島）保健婦駐在所を廃止し、摂津市総合福祉会館内に吹田保健所摂津支所が発足した。
摂津支所改造工事が完成した。

- 47. 7. 6 山田保健婦駐在所を廃止した。
- 47. 9. 30
- 51. 4. 1 当所の規格がU1型に変更された。
- 52. 3. 31 摂津支所栄養室等の改修工事が完成した。
- 53. 9. 28 第30回保健文化賞を受賞した。
- 54. 9. 10 千里保健医療会館内に吹田保健所千里支所が発足した。
- 55. 2. 1 古江台保健婦駐在所を廃止した。
- 55. 4. 1 大阪府財務規則の改正により、大阪府庁の指定が解かれ、大阪府指定出先機関に指定される。
- 56. 9. 13 国民健康づくり計画モデル事業の実施地域に吹田保健所管内の吹田市及び摂津市（吹摂地区）が決定される。
- 57. 3. 31 本所所長室の改修工事が完成した。
- 57.12.27 本所庁舎内外塗装工事が完成した。
- 58. 3. 3 本所障害者対策施設工事が完成した。
- 60. 2. 16 保健所開設40周年記念式典を挙行了した。
- 63. 4. 1 保健福祉推進室が設置され、3課1室の体制となる。
- 63.11.17 本所の新築移転（吹田市出口町19番3号）工事が完了し、竣工式典を挙行了した。
- 63.12. 1 本所新庁舎にて業務開始した。
- 平成6. 11. 9 保健所開設50周年記念式典を挙行了した。
- 11. 3. 31 本所福祉整備工事が完成した。
- 12. 4. 1 保健所組織の再編により吹田保健所は「吹田府民健康プラザ」、吹田保健所千里支所は「千里府民健康プラザ」、吹田保健所摂津支所は茨木保健所の管轄になり「摂津府民健康プラザ」となる。
 これで当保健所の管轄区域は吹田市1市となる。また、「総務課」と「保健福祉推進室」を統合して、「企画調整課」を設置し、「保健予防課」を「地域保健課」に改称した。
- 13. 3. 21 千里支所福祉整備工事が完成した。
- 16. 3. 31 保健所組織の再編により、吹田保健所千里支所及び千里府民健康プラザの名称は廃止された。
- 16. 4. 1 大阪府財務規則の改正により、指定出先機関の指定を解かれ予算執行機関となる。
- 令和2. 3. 17 吹田市の中核市移行に向けた犬舎、処置室を（猫舎）改修工事が完成した。
- 2. 3. 28 吹田市の中核市移行に向けた庁舎内部改修工事が完成した。

【吹田市保健所】 令和2年4月1日～

- 令和2. 4. 1 吹田市の中核市移行に伴い、保健所が大阪府から吹田市に移管され、吹田市保健所を開設した。

第2 市の概要

吹田市は、北は箕面市、茨木市に、東は摂津市に、南は大阪市に、西は豊中市に接しており、その面積は 36.09 k m²、府面積の約 2% を占めている。管内人口は 376,944 人、世帯数は 177,152 世帯（令和 3 年 3 月 31 日現在）である。

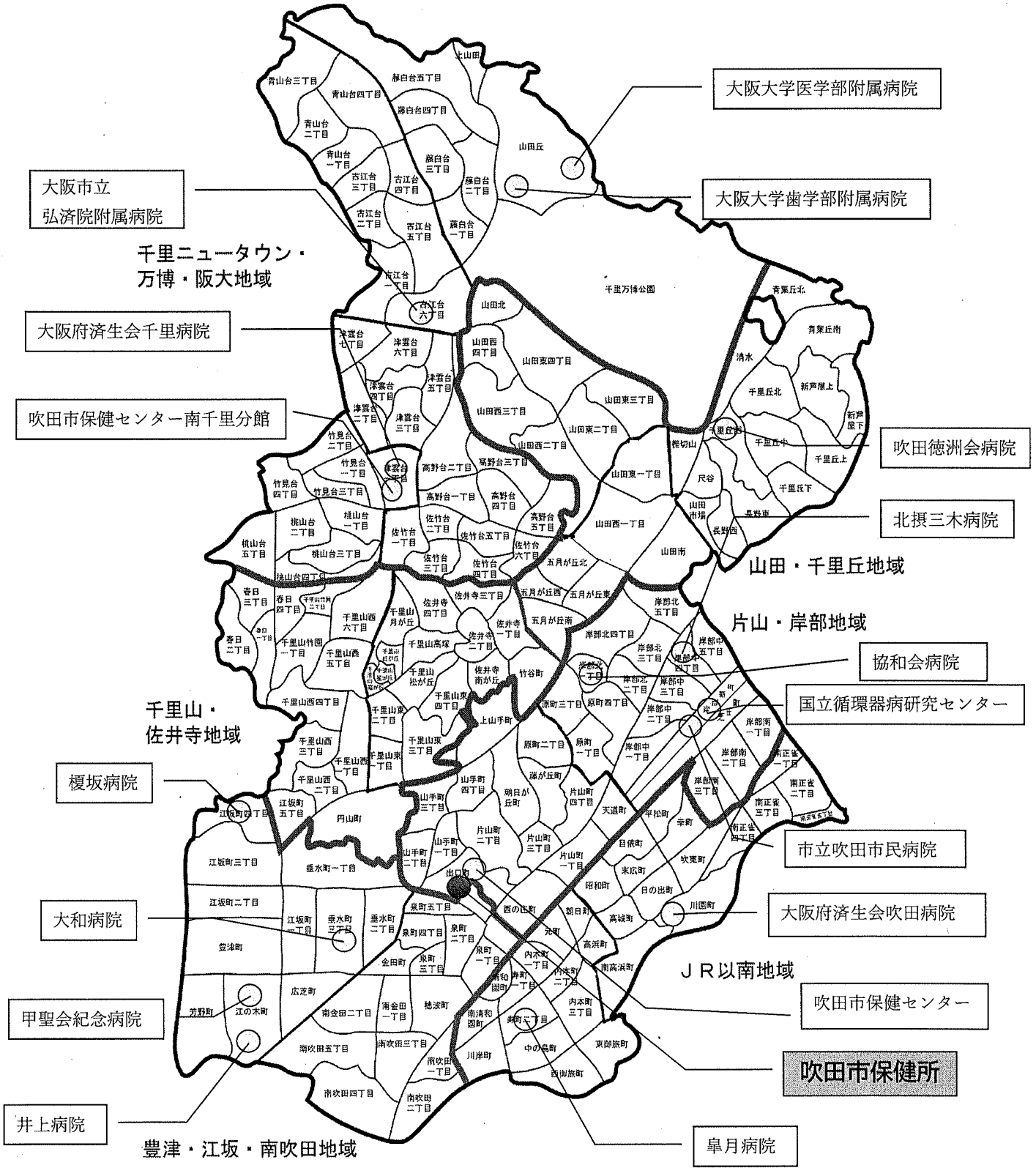
市の地理的環境は、古くから鉄道に沿って発達した中小事業所が多い南部地域、大阪市内に通勤するサラリーマンのベッドタウンとして整備された日本初の大規模団地である千里ニュータウンのある北西部地域、大阪の副都心として開発の続く地下鉄江坂駅を中心とした西部地域、田園都市から住宅産業都市へと変貌し、さらに企業進出が目ざましい東部地域から構成されている。

平成 26 年 5 月、「健康・医療のまちづくり」基本方針を定め、JR 岸辺駅前前の吹田操車場跡地に移転した国立循環器病研究センターと市立吹田市民病院を中心に、循環器病についての予防医療や健康づくりの推進、市民参加型の循環器病予防の取組のモデル創成など、世界をリードする健康医療都市を目指している。

また、近年、千里ニュータウン、JR 以南地域をはじめとする市内の各地域で急速に進んでいる高齢化問題に対応していくため、健康づくりや健康寿命延伸の取組に力を入れている。

さらに、令和元年 8 月 7 日、保健衛生、環境等の幅広い分野の事務権限を持ち、市民の命と豊かな暮らしを支えるための取り組みを一層推進するため、総務大臣に中核市指定（政令）の申出を行い、同年 11 月 13 日、地方自治法第 252 条の 22 の規定に基づき中核市の指定に関する政令が公布された。これにより令和 2 年 4 月 1 日より、中核市となり吹田市保健所を開設した。

管内略図



第3 主たる事務所の付近見取り図

所在地:吹田市出口町 19 番 3 号

電話番号:保健医療室 06(6339)2225

衛生管理課 06(6339)2226

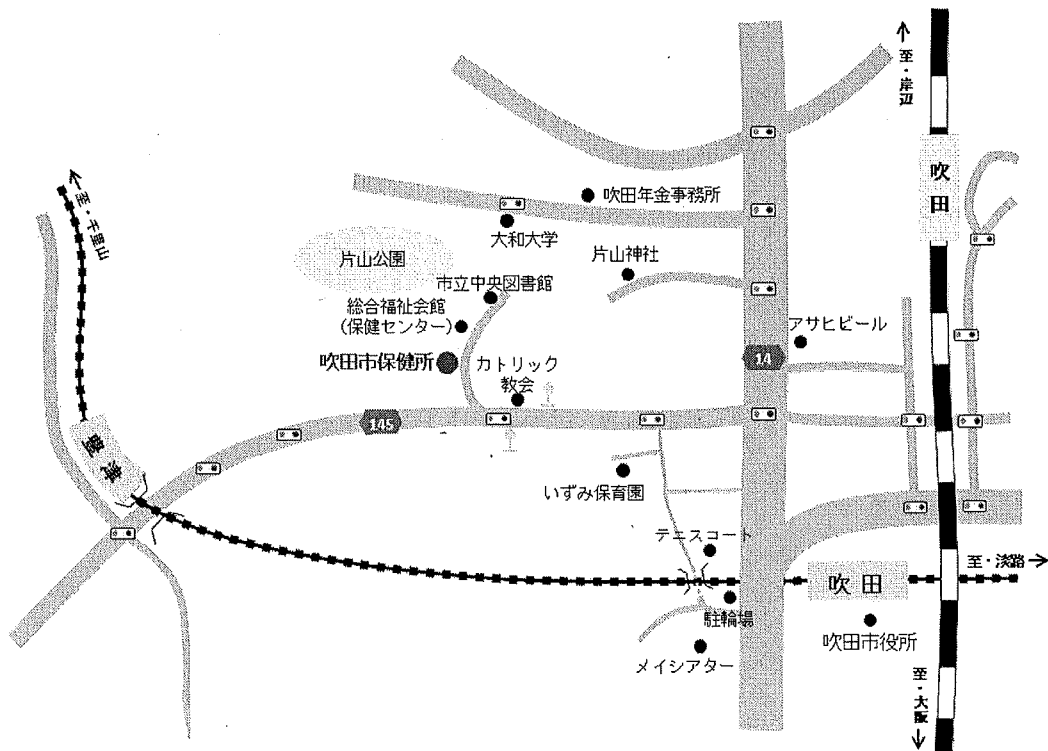
地域保健課 06(6339)2227

ファックス:全室課共通 06(6339)2058

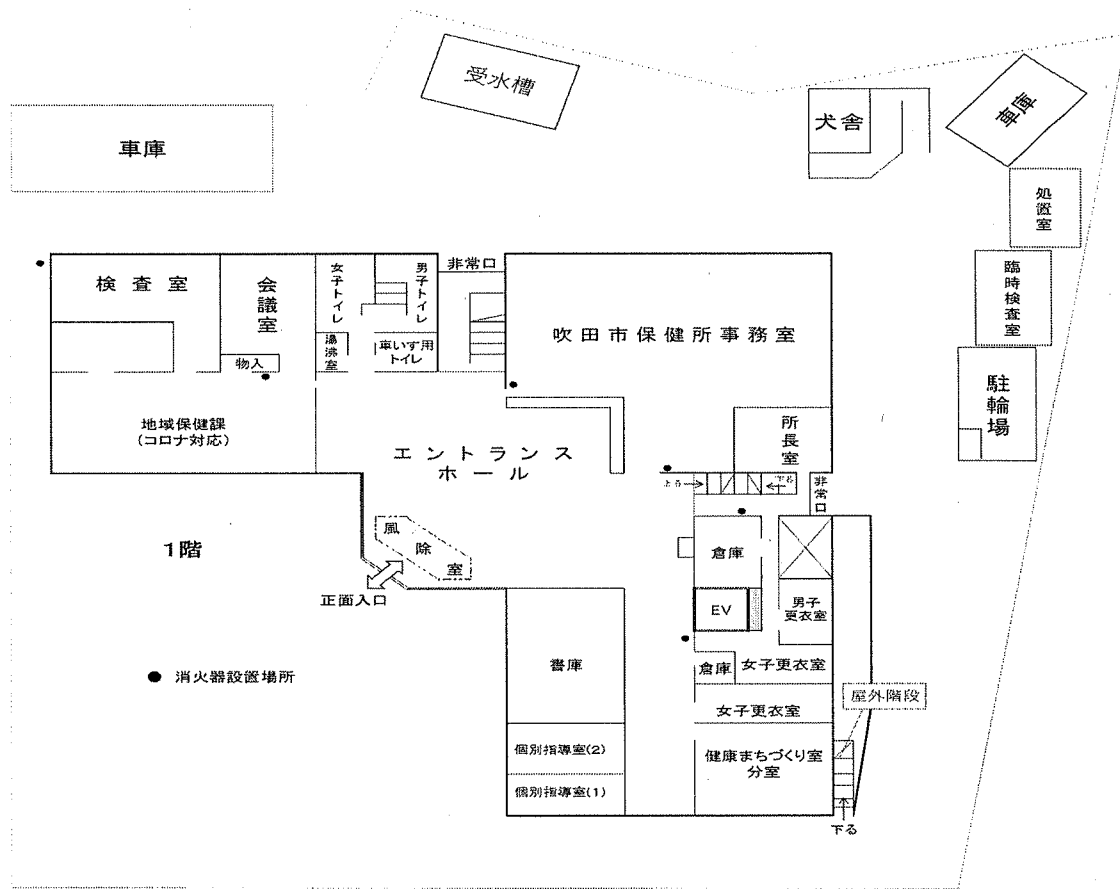
阪急電鉄千里線 吹田駅から徒歩約 8 分

阪急電鉄千里線 豊津駅から徒歩約 8 分

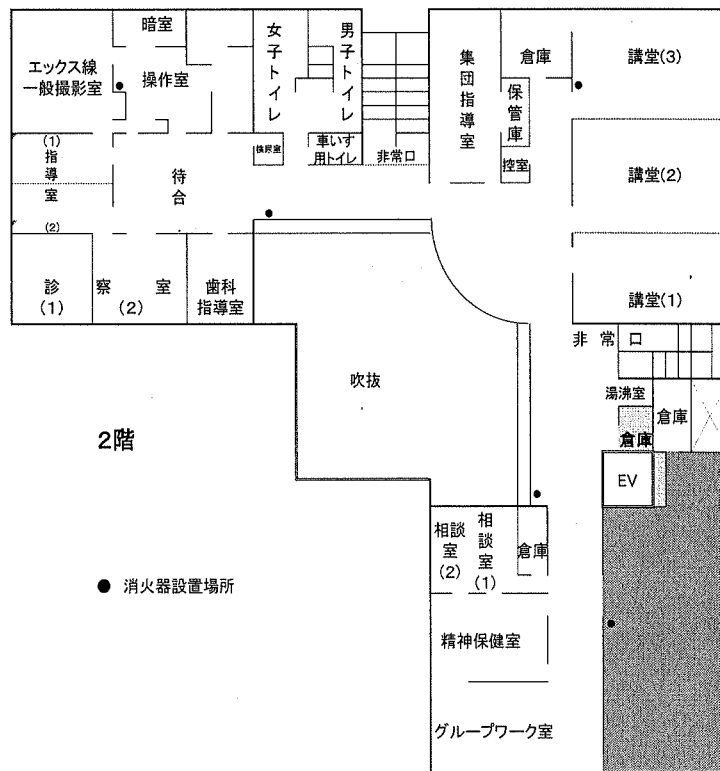
JR 京都線 吹田駅から徒歩約 15 分



第4 敷地及び庁舎・施設平面図

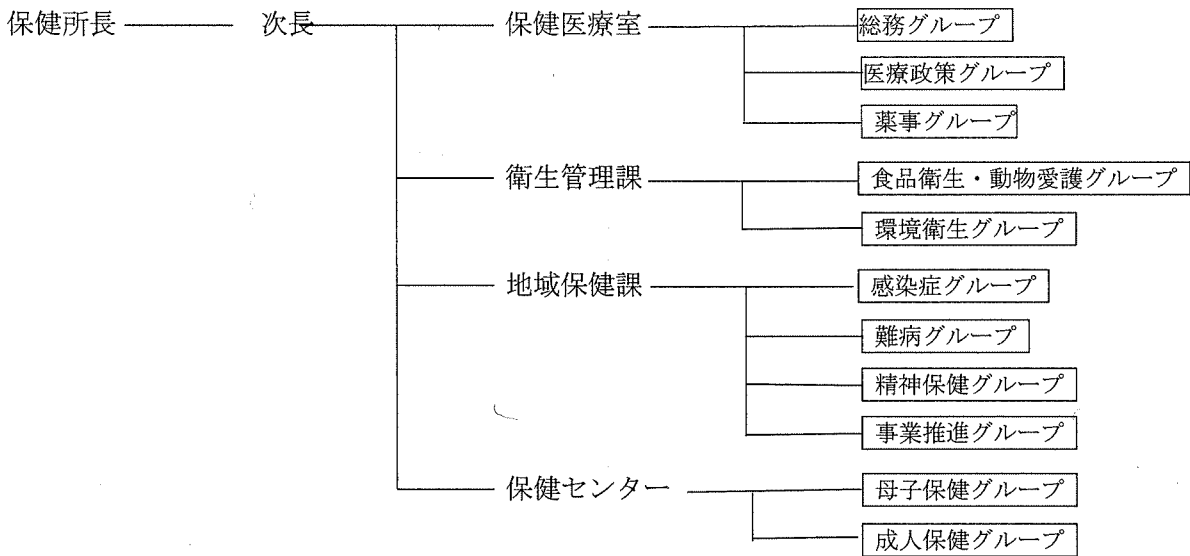


建築面積 960.76 m²
 延面積 1,847.89 m²
 敷地面積 3,000.01 m²



第5 組織表

令和3年4月1日現在



第6 現員表

令和3年4月1日現在

() 内は大阪府職員数：内数

【職種別内訳】

室課名等	職別	職種	人数
保健所全体	常勤職員	事務	42名 (2名)
		医師	2名 (1名)
		保健師	71名 (6名)
		看護師	1名 (0名)
		ケースワーカー	1名 (1名)
		精神保健福祉士	2名 (0名)
		診療放射線技師	2名 (1名)
		獣医師	6名 (1名)
		化学職	1名 (0名)
		薬剤師	10名 (5名)
		栄養士	2名 (0名)
		歯科衛生士	2名 (0名)
		小計	142名 (17名)
	会計年度職員	事務補助	21名
		保健師	11名
		助産師	4名
		看護師	2名
		栄養士	3名
		歯科衛生士	2名
		獣医師	1名
薬剤師	1名		
小計	45名		
	計	187名 (17名)	

保健所長	常勤職員	医師	1名	(1名)
保健医療室	常勤職員	事務	9名	(1名)
		保健師	5名	(1名)
		薬剤師	4名	(2名)
		小計	18名	(4名)
	会計年度職員	事務補助	2名	
		看護師	1名	
		小計	3名	
計		21名	(4名)	
衛生管理課	常勤職員	事務	3名	(0名)
		獣医師	6名	(1名)
		薬剤師	6名	(3名)
		化学職	1名	(0名)
		小計	16名	(4名)
	会計年度職員	事務補助	3名	
		獣医師	1名	
		薬剤師	1名	
		小計	5名	
	計		21名	(4名)
地域保健課	常勤職員	事務	7名	(1名)
		医師	1名	(0名)
		保健師	20名	(3名)
		ケースワーカー	1名	(1名)
		精神保健福祉士	2名	(0名)
		診療放射線技師	2名	(1名)
		小計	33名	(6名)
	会計年度職員	事務補助	8名	
		保健師	1名	
		小計	9名	
	計		42名	(6名)
保健センター	常勤職員	事務	23名	(0名)
		保健師	46名	(2名)
		看護師	1名	(0名)
		栄養士	2名	(0名)
		歯科衛生士	2名	(0名)
		小計	74名	(2名)
		会計年度職員	事務補助	8名
	保健師		10名	
	助産師		4名	
	看護師		1名	
	栄養士		3名	
	歯科衛生士		2名	
	小計		28名	
	計		102名	(2名)

【役職別内訳】

室課名等	職別	役職	人数
保健所全体	常勤職員	部長級	2名 (1名)
		次長級	3名 (0名)
		課長級	14名 (6名)
		課長代理級	23名 (7名)
		主査	23名 (0名)
		主任・係員	77名 (3名)
		小計	142名 (17名)
保健所長	常勤職員	部長級	1名 (1名)
保健医療室	常勤職員	次長級	1名 (0名)
		課長級	4名 (2名)
		課長代理級	4名 (1名)
		主査	2名 (0名)
		主任・係員	7名 (1名)
		小計	18名 (4名)
衛生管理課	常勤職員	課長級	2名 (2名)
		課長代理級	4名 (2名)
		主査	3名 (0名)
		主任・係員	7名 (0名)
		小計	16名 (4名)
地域保健課	常勤職員	次長級	1名 (0名)
		課長級	4名 (1名)
		課長代理級	8名 (4名)
		主査	6名 (0名)
		主任・係員	14名 (1名)
		小計	33名 (6名)
保健センター	常勤職員	部長級	1名 (0名)
		次長級	1名 (0名)
		課長級	4名 (0名)
		課長代理級	7名 (1名)
		主査	12名 (0名)
		主任・係員	49名 (1名)
		小計	74名 (2名)

第7 事務分掌

1 保健医療室

- (1) 医事及び薬事に関する事項
- (2) 保健衛生に係る調査及び統計に関する事項
- (3) 保健医療団体との連絡に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (4) 地域医療に係る施策の企画、調整及び推進に関する事項
- (5) 健康危機管理に関する事項
- (6) 保健所運営協議会に関する事項
- (7) 医療審議会に関する事項
- (8) 保健所庁舎の管理に関する事項
- (9) 保健所内の総合調整及び庶務に関する事項。

2 衛生管理課

- (1) 食品衛生に関する事項
- (2) 環境衛生に関する事項
- (3) 狂犬病の予防に関する事項
- (4) 動物の愛護及び管理に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (5) 衛生上の試験及び検査に関する事項
- (6) 専用水道及び簡易専用水道に関する事項
- (7) 飲用井戸等に係る指導に関する事項

3 地域保健課

- (1) 感染症の対策及び予防に関する事項
- (2) 精神保健に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (3) 自殺対策に関する事項
- (4) 難病の支援に関する事項
- (5) 難病、肝炎治療および不妊治療の医療費助成に関する事項
- (6) 感染症診査協議会に関する事項

4 保健センター

- (1) 母子保健に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (2) 成人保健に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (3) 前2号に定めるもののほか、センターの事業に関する事項
- (4) センターの使用許可に関する事項
- (5) 小児慢性特定疾病審査会に関する事項
- (6) 予防接種健康被害調査委員会に関する事項
- (7) 保健師の保健活動の総合調整及び推進に関する事項
- (8) 保健センター南千里分館及び保健会館に関する事項
- (9) その他センターの庶務に関する事項

第8 主要事業の概要

令和2年度から中核市に移行し、これまで府保健所で行われてきた広域的・専門的・技術的拠点としての機能と、住民に身近な保健サービスの提供を一体的かつ効果的に展開し、総合的な保健サービスの提供を行うために、市保健所を設置した。

地域の公衆衛生の拠点施設として、きめ細やかな地域保健業務や健康づくり施策の推進、また医療の推進や公衆衛生の向上、さらに健康危機管理への迅速な対応等、地域の保健衛生の更なる推進のための業務に取り組んでいる。

1 保健所における新型コロナウイルス感染症対応業務

新型コロナウイルス感染症に関する保健所の対応については、職員の増員や予算措置等の全庁的な支援を受け、保健所4室課で丸となり、役割分担を行いながら対応している。

さらに、委託可能な業務については、積極的に業務委託を行うなどし、保健所機能強化を図った。

(1) 新型コロナウイルス感染症対応件数

	令和2年度
相談件数	24,288 件
PCR 実施件数	37,366 件
陽性者数	1,551 件

(2) 新型コロナウイルス感染症における入院勧告、就業制限等の状況

	令和2年度
入院勧告	354 件
就業制限	1,505 件

(3) 新型コロナウイルス感染症に関する現地調査の件数

施設種別	件数
高齢者施設	30 件
障がい者施設	7 件
医療機関	4 件
児童施設、教育関係施設	3 件
その他	5 件
合計	49 件

(4) 市内クラスター発生状況

施設種別	件数
高齢者施設	7 件
障がい者施設	2 件
医療機関	1 件
児童施設、教育関係施設	4 件
その他	4 件
合計	18 件

(5) 高齢者及び障がい者施設等の従事者等に対する集中的PCR検査(R3.2月～3月分実施分)

	合計	うち、高齢者施設	うち、障がい者施設
実施施設数	72件	55件	17件
陽性結果の施設数	0件	0件	0件
実施件数(延べ)	2,337件	2115件	222件
陽性件数(延べ)	0件	0件	0件

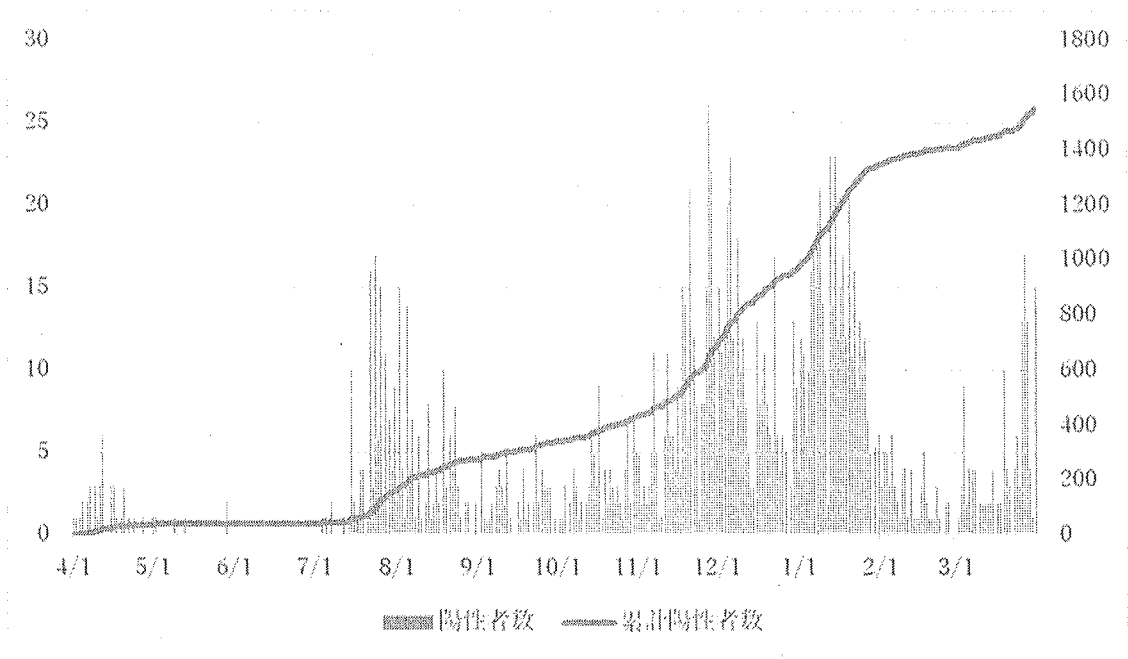
(6) 新型コロナウイルス感染症業務 これまでの対応経過(令和2年4月～令和3年3月)

月	日	主な出来事	主な内容	
4月	1日	吹田市保健所開設	保健所設置市として、新型コロナウイルス感染症受診相談センター機能を有し、市民からの相談対応や国、府、管内医療機関等との総合調整業務を開始。	
		夜間コールセンターを設置	平日の17時30分～翌朝9時及び休日（土曜日、日曜日及び祝日）の9時～翌朝9時に、コロナ専用電話を開設。	
		患者搬送業務委託を開始	感染者を自宅から病院へ搬送する業務を委託。	
	第1回緊急事態宣言(4/7～5/25)			
	7日	管内5大学へ感染対策の注意喚起	管内5大学に対して、若い世代における感染拡大に対する注意喚起を実施。	
	9日	新型コロナウイルス感染症に関する調整会議①	管内15病院、3師会、吹田市消防本部と、新型コロナウイルス感染症患者増加を見据えた医療提供体制に関する情報共有を実施。	
	14日	宿泊療養を開始	大阪府がコロナ軽症者等に係る宿泊療養施設（ホテル）を確保。 （令和3年4月13日現在3,059室）	
	16日	新型コロナウイルス感染症に関する調整会議②	管内15病院、3師会、吹田市消防本部と、新型コロナウイルス感染症患者の受入病床の確保と救急医療体制の維持について情報共有と意見交換を実施。	
20日	昼間コールセンターを設置	平日の9時～17時30分にコロナ専用電話を開設。（これにより夜間コールセンターと併せ24時間の電話相談が対応可能となる）。		
28日	検体の回収・検査を委託	吹田市等の医療機関で採取した新型コロナウイルスの検体の回収、搬送及び新型コロナウイルス核酸検出の実施を委託。		
5月	7日	ドライブスルー方式によるPCR検査を開始（～6/30）	市内の病院（1カ所）で実施。PCR検査が必要と判断された方のうち、軽症かつ、自身または家族の運転による車で来院可能な方が対象。	
	18日	帰国者・接触者外来設置医療機関へ補助金を交付	市内の新型コロナウイルス感染症に係る帰国者・接触者外来を設置している市内の病院3カ所に対し、1,100万円を限度に医療物資購入費等を補助。	
6月	1日	患者搬送業務に係る医療職の同乗を委託	感染者を病院に搬送する際、健康観察のため同乗していた医療職の業務を委託。	
	3日	管内院内感染対策連絡会議①（オンライン会議）	新型コロナウイルス感染症の院内感染対策や医療提供体制、及び各病院の準備状況について情報共有や意見交換を行った。	
7月	16日	保健所での検体採取を開始	保健所敷地内で無症状濃厚接触者を対象に、唾液によるPCR検査を実施。	
	27日	妊婦へのPCR検査等を開始	不安を抱える妊婦への分娩前PCR検査を実施（希望者のみ）。また、新型コロナウイルス感染症に感染した妊産婦に対する寄り添い型支援を実施。	
	30日	新型コロナウイルス感染症に関する調整会議③	管内15病院、3師会、吹田市消防本部と、検査体制拡充と院内感染対策の強化について情報共有と意見交換を実施。	
8月	4日	飲食店等に対して感染対策リーフレットを配付	市内の飲食店（約2,000店）の事業者に対し、感染リスクを減らすための取組協力のリーフレットを作成・送付。	
	4日	高齢者施設内感染対策リーダー育成研修①	新型コロナウイルス感染症の平時における感染対策について、特別養護老人ホーム連絡協議会加入施設を対象に研修を実施。 研修動画を介護保険事象者向け掲示板（ケア倶楽部）に掲載。	
9月	18日	高齢者施設内感染対策リーダー育成研修②	施設内で陽性者が発生した場合を想定した感染対策について、特別養護老人ホーム連絡協議会加入施設を対象に研修を実施。 研修動画を介護保険事象者向け掲示板（ケア倶楽部）に掲載。	
	23日	新型コロナウイルス検体回収センターを設置	吹田市医師会所属の地域の診療所の医師によりPCR検査が必要と判断された患者が、自ら自宅から採取した検体を回収するための拠点を、市内2カ所に設置。	

10月	12日	執務室を移転（1回目）	新型コロナ対応職員の執務室を、2階の講堂へ移動。
	12日	保健所代表番号の自動音声案内を導入	新型コロナ感染症及び保健医療室以外の部署に関する市民等からの問合せが集中している「6339-2225番」に「自動音声案内」の機能を導入
	16日	管内5大学へ感染対策の注意喚起	大学でのクラスター発生を受けて、感染拡大に対する注意喚起を実施。
11月	13日	新型コロナウイルス感染症に関する調整会議④	管内15病院、3師会、吹田市消防本部と、発熱患者等の相談・診療・検査体制についての情報共有と意見交換を実施。
	16日	地域外来・検査センターを設置	検査体制拡充のため、保健所を介せずに検査を行う「地域外来・検査センター」を設置。（市内の病院2か所に委託）。
	16日	管内5大学へ感染対策の注意喚起	大学でのクラスター発生を受けて、再度、感染拡大に対する注意喚起を実施。
	24日	発熱患者等の相談受診体制を整備（診療・検査医療機関の指定）	発熱患者等の相談・診療・検査が可能な医療機関を、「診療・検査医療機関」として大阪府が指定。発熱患者等が、かかりつけ医等の地域の身近な医療機関での相談、受診が可能となる。それに併せて吹田市医師会と管内相談受診体制について調整。
12月	1日	府が実施している検査調整センター業務を開始	大阪府からの職員（事務、看護師）派遣により「診療・検査医療機関の指定業務」や検査件数のGMIS入力、濃厚接触者への検査調整等を実施。
	14日	新型コロナウイルス感染症における自宅療養者に対する生活支援を開始	自宅療養中の感染者に対して、食料品や衛生用品を詰め合わせた「自宅療養応援パック」を配達。
1月	第2回緊急事態宣言（1/14～3/1）		
	19日	唾液検体採取方法の変更	濃厚接触者の唾液の採取方法を50mlポリ遠心チューブに唾液を集める方法から、滅菌綿棒に唾液を吸収させる方法に変更した。これにより唾液が採取しにくい乳幼児や高齢者からの採取が容易になった。
2月	5日	管内院内感染対策連絡会議②（オンライン会議）	新型コロナウイルス感染症の対応状況や高齢者施設への支援状況、コロナの治療を終えた方の受け入れ等について情報共有や意見交換を実施。
	16日	二次医療圏における福祉施設等への新型コロナ感染対策に関する意見交換	福祉施設等におけるクラスターの多発を受け、新型コロナ対応の問題共有や有効な支援策についてICNと行政（保健所・福祉担当）の意見交換を実施。地域によって医療資源に差があることから迅速な対応のため、福祉施設等への発生時の支援におけるICNの広域派遣（豊能・三島圏域）について提案。その後、実施手順等を整備し、システム化した。
3月	1日	高齢者、障がい者入所施設等の従事者に対する集中的なPCR検査の開始（～3/31）	高齢者及び障がい者入所施設等の感染拡大防止を目的に、施設等の従事者に対し集中的なPCR検査を実施。
	9日	飲食店等に対して感染対策リーフレットを配付	都市魅力部地域経済振興室と連携し、商店街の飲食店等に対し、感染リスクを減らすための取組協力のリーフレットを再度送付。
	9日	敷地内に仮設検査室を設置し、検体採取を開始	これまで保健所内で濃厚接触者を対象に検体を採取する際、敷地内のテントや自転車置き場にて実施していたが、新たにへパフィルター及び冷暖房を完備した仮設検査室（モバイルクリニック）を設置し、運用を開始。
	22日	執務室を移転（2回目）	新型コロナ対応職員の執務室を、1階の健康まちづくり室執務室に移動。健康まちづくり室執務室は、総合福祉会館5階に移動。
	24日	福祉施設等への新型コロナ感染防止対策研修	高齢者入居施設、障がい者共同生活援助事業者、障がい者入所施設の従業者を対象に、感染防止対策のポイントや防護服の着脱等の実際について研修を実施。
	下旬	市内の病院、診療所、薬局等に対し、「新型コロナウイルス感染症対策応援金」を支給	感染防止や人材確保の対策などを講じ、市内の地域医療に係る事業所に対し、事業継続を支援するための応援金を支給。

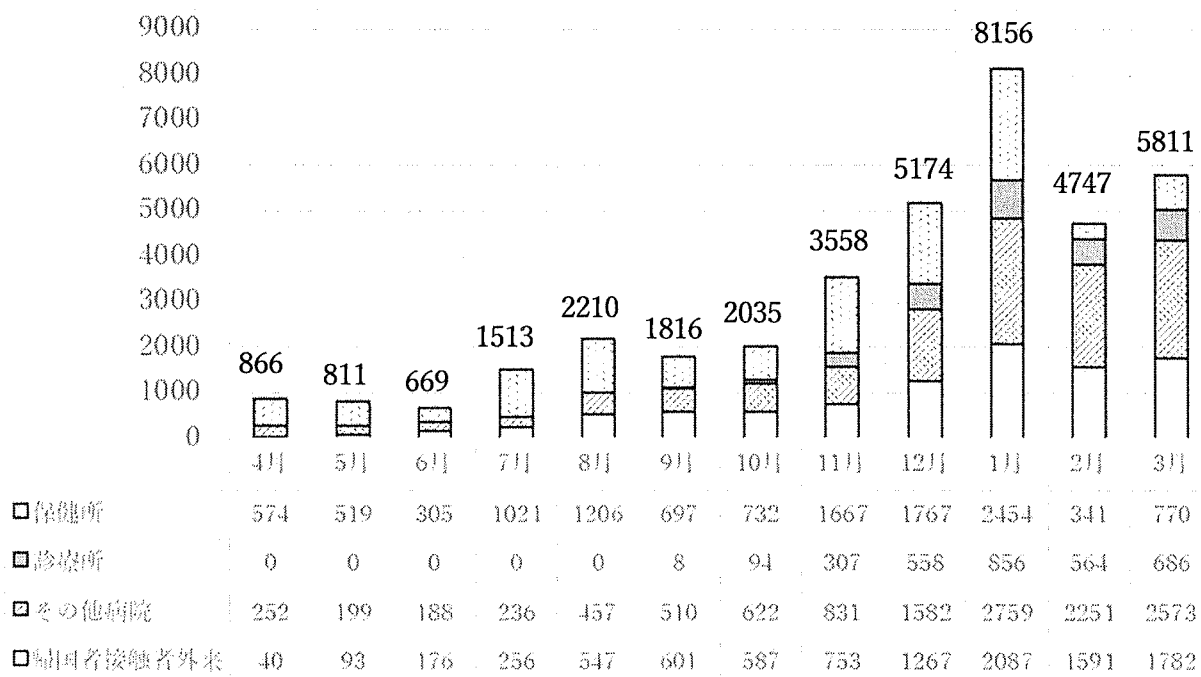
令和2年度 感染者数 (日別)

累計陽性者数：1551名
 最大陽性者数：11/28 26名



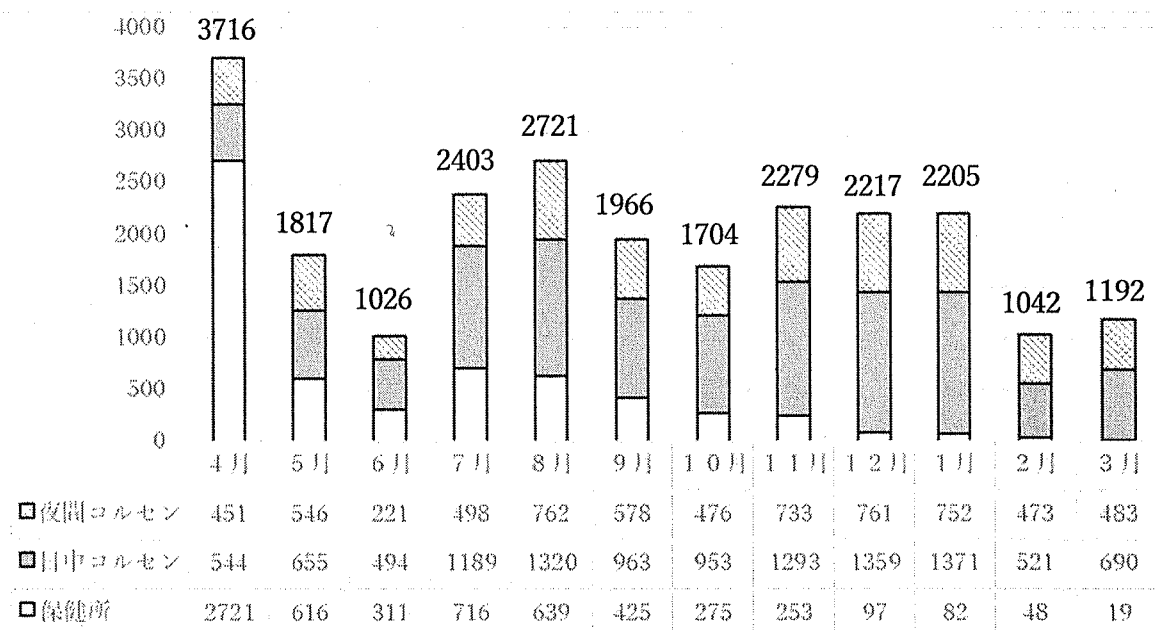
令和2年度 検査件数

総実施件数 37,366件

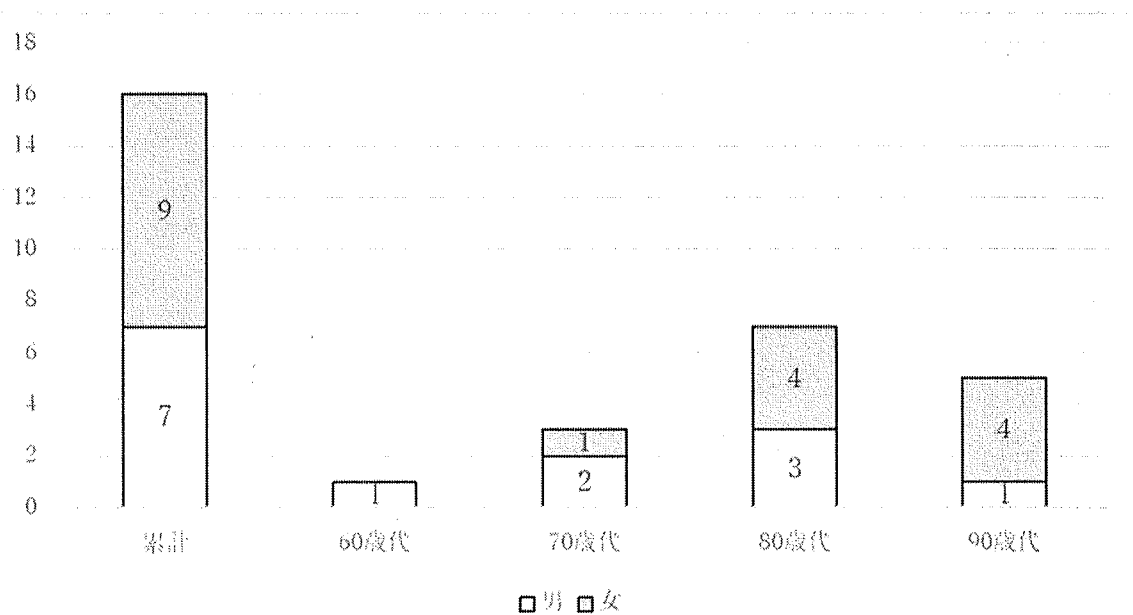


令和2年度 相談件数

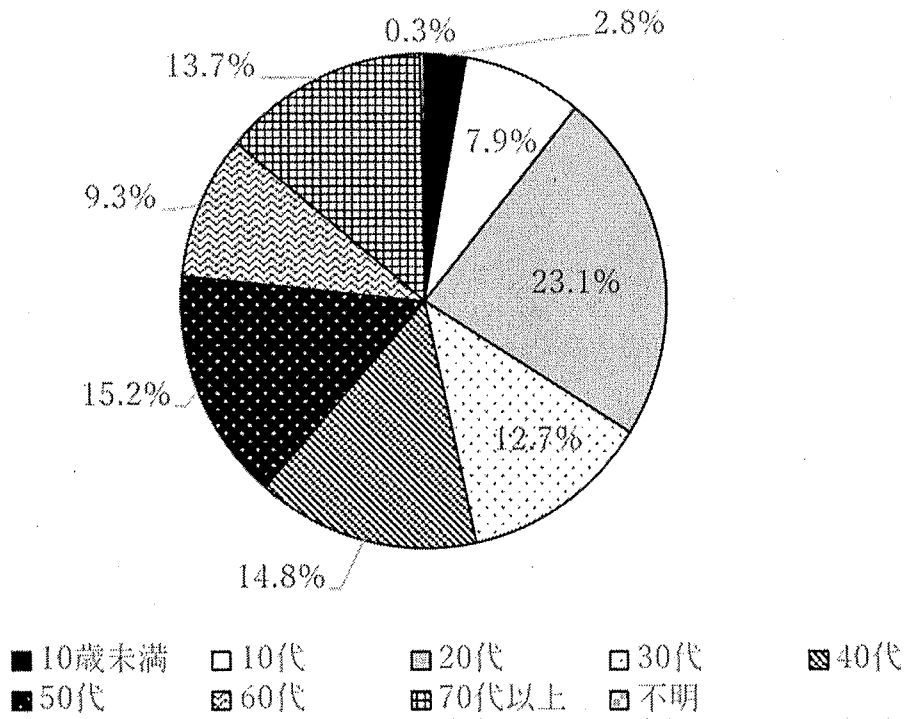
過去最大相談件数：7/27 225件



令和2年度 死亡者数



令和2年度 感染者数 (年代別)



2 地域医療構想の推進

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、病院連絡会は開催中止となり、豊能医療・病床懇話会、豊能保健医療協議会で豊能二次医療圏における地域医療構想の進捗状況と各病院の今後の方向性について協議され、病院プランについて承認された。また、新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の医療提供体制について意見交換が行われた。

<地域医療構想の実現化に向けた検討と取組み>

平成30年度	豊能保健医療協議会開催 豊能医療・病床懇話会開催（吹田保健所事務局） 病院連絡会開催
令和元年度	豊能保健医療協議会開催 豊能医療・病床懇話会開催 病院連絡会開催
令和2年度	豊能保健医療協議会開催 豊能医療・病床懇話会開催 病院連絡会開催中止（新型コロナ感染症の感染状況を踏まえ）

3 医療安全

(1) 医事

医療法やその他法令に基づき、市内の病院や診療所、施術所、助産所、歯科技工所に対する各種申請の受付や許可を行っている。

市内の医療機関に対しては、医療の安全や構造設備等に係る定期立入検査を実施し、助言や指導を行っている。

また、医療の安全と信頼を高め、市内の医療機関の患者サービスや質の向上を高めるため、市民からの医療機関に対する相談や苦情に対応する医療相談窓口を開設している。

(2) 薬事

薬局、店舗販売業者、高度管理医療機器等販売業者及び毒物劇物販売業者等に係る許可・登録の申請及び届出等の審査を行うとともに、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法等関係法令の遵守の確認のため、監視指導を実施している。また、市民や学校への啓発活動として、ポスター、リーフレットやクリアファイル等を活用し、薬物乱用防止や薬と健康に関する啓発を実施している。

衛生検査所に係る登録申請、変更届等の審査を行うとともに、臨床検査技師等に関する法律の遵守の確認のため立入検査を実施している。

4 健康危機管理・総合調整

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

令和2年4月、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、当該感染症患者の受入病床の確保と救急医療体制の維持・確保に向けて、管内15病院や吹田市医師会等の医療関係機関、消防本部との情報共有の機会を設定した。また7月には、検査体制の拡充と院内感染対策の強化に向けて、11月には季節性インフルエンザ等増加する発熱患者等の相談・診療・検査体制について、「新型コロナウイルス感染症に関する調整会議」を実施した。

さらに、管内15病院の感染制御医師及び感染管理看護師等により構成する「吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議」については、当該感染症の感染拡大状況の共有と院内感染対策の徹底のため、6月と令和3年2月の2回開催した。

高齢者施設等への支援については、福祉部と連携し、管内の感染管理認定看護師の協力を得て、当該感染症の感染対策に関する研修会を3回実施した。

また、当該感染症の発生や集団感染の可能性がある場合など、管内の医療機関や高齢者施設等からの要請に応じて、感染制御専門スタッフで構成する支援チームを派遣し、現場での助言支援を行った。

支援チームの派遣については、保健所圏域を超えた北摂地域への派遣について、北摂地域の保健所及び感染管理看護師との調整を行った。

(2) 災害対策について

豊能二次医療圏では、災害対応強化を目的として平成28年から災害拠点病院が豊能圏域大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修を実施しており、令和2年度はコロナ禍における複合災害についての机上シミュレーションをオンライン研修で参加した。

<健康危機管理体制構築への取り組み>

平成30年度	<p>済生会千里病院と新型インフルエンザ等合同訓練の実施</p> <p>EMIS入力・MCA無線操作訓練の実施</p> <p>「吹田保健所健康危機管理関係機関連絡会議」との合同で「豊能医療圏災害医療研修」を開催</p>
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市立豊中病院と新型インフルエンザ等合同訓練の実施 ・北摂三木病院との麻しん対応訓練の支援 ・「病院における業務継続計画(BCP)策定セミナー」開催 ・吹田保健所版アクションカードとレファレンスシート作成及び検証訓練実施 ・EMIS入力・MCA無線操作訓練の実施 ・豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修及び実働訓練を実施 ・「吹田保健所健康危機管理関係機関連絡会議」「管内帰国者・接触者外来設置医療機関等意見交換会」において新型コロナウイルス感染症における医療提供体制の構築に向けた意見交換の実施
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に関する調整会議を開催(4回) ・吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議を開催(2回) ・高齢者施設リーダー育成研修を実施(2回) ・吹田市保健所災害マニュアルを作成 ・吹田市保健所版アクションカードとレファレンスシートを作成 ・豊能圏域大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修に参加 ・保健所圏域を超えた福祉施設等への新型コロナ感染対策に関する意見交換会にて北摂地域での支援チーム派遣について承認 ・福祉施設等への新型コロナ感染防止対策研修を実施

5 感染症対策

令和2年2月に新型コロナウイルス感染症が指定感染症に指定され、その感染者が急増したことから、令和2年度は、当該感染症対策が業務の大半を占めることとなった。当該業務は、市民からの受診相談をはじめ、疫学調査、入院、宿泊療養の調整、患者搬送、濃厚接触者への検体採取、クラスター発生施設への調査等、多岐に渡る膨大な業務となったため、保健所全室課で対応した。感染症担当としては、主に発熱者等の受診調整や陽性患者への積極的疫学調査、療養期間における健康観察等の患者支援に加え、高齢者、障がい者施設等において陽性者が発生した場合、感染拡大防止のため、現地調査を行い、感染対策の具体的な指導を行った。なお、急激な感染拡大に対しては、庁内保健師の応援や人材派遣による保健師及び事務職を活用し、迅速に

対応できるよう取り組んだ。

結核、HIV等、従前から感染症対策全般については、患者の早期発見、早期治療及び感染拡大防止に向けた取組を行った。

結核の新規登録患者数は、42人で、うち、喀痰塗抹陽性患者は17人で、新規登録患者に占める割合は40.4%であった。

<結核患者の状況>

	新規登録患者数 (活動性)	内) 登録時喀痰塗抹陽性	内) 70歳以上
平成30年	38人	16人	23人
令和元年	47人	15人	27人
令和2年	42人	17人	25人

結核対策は、発見された患者を確実に治す事が重要なため、潜在性結核感染症患者を含む全患者に対して、患者本人が確実に服薬し治癒に至るよう、本人及び家族も含めた服薬支援(DOTS)に取り組んだ。また、結核に関する啓発事業としては、管内医療機関や地域包括支援センター等へのポスターの掲示や開業医を対象にした、結核の診断、治療の最新情報を学ぶための「結核対策医療機関講習会」を医師会共催で開催する等、広く情報発信に努めた。

性感染症対策としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、HIV検査を中止することとなり、実施回数は減少したが、市内5大学と連携し、学内イントラネットでのリーフレット配信等により、梅毒やクラミジア等の性感染症予防に関する啓発を行った。

6 精神保健福祉

こころの健康相談について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、それに付随した精神的な不安やストレスに関する相談やアルコール等の依存症関連の相談が多く寄せられた。

自殺対策については、令和元年度まで府保健所と市保健センターのそれぞれで取り組んできたが、令和2年度の中核市移行に伴い、本市自殺対策事業の担当が市保健所地域保健課となった。これにより、これまで府保健所で取り組んできた自殺対策のノウハウも含め、市保健所で一体となって実施できるようになった。具体的な取り組みとしては自殺対策推進庁内会議、自殺対策推進庁内会議実務担当者会議、自殺対策推進懇談会の開催やゲートキーパー養成研修の実施、各種啓発活動を行った。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会においては書面開催を行った。なお、令和3年度以降は福祉部障がい福祉室と共催で実施する検討を行った。

その他、市民講座や関係機関職員研修等については、新型コロナウイルス感染症の拡大を鑑み一部中止となったため、保健所ホームページや本市公式Twitter等のSNSを活用した情報発信、市報での特集記事の掲載等、広く市民に向けた啓発活動に力を入れて取り組んだ。

保健所精神保健福祉相談件数の変遷 (件)

	相談訪問延件数	相談実数
平成30年度	3,726	485
令和元年度	3,635	491
令和2年度	3,561	482

※平成30年度、令和元年度は府保健所

7 難病対策

難病患者及び家族が地域で安心して医療・介護等を受けることができるよう、個別支援・集団支援を行った。集団支援として、「潰瘍性大腸炎」をテーマに、Webでの講演会を開催した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、豊能圏域で開催している大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議(研修会)や、北ブロックで開催している難病担当者会議等は中止となった。

<大阪北部地域神経筋難病ネットワーク構築への取り組み>

	大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議	大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議研修会
平成30年度	平成30年10月11日(木) ・報告「レスパイト入院に関する継続調査」 ・講義「神経難病のインフォームド・コンセントにおける問題点」 ・その他、情報交換	平成31年3月2日(土) 報告「北ブロックにおけるレスパイト入院に関する継続調査報告」 報告「レスパイト入院受け入れ病院が災害時、緊急入院を受けてくれた事例」 講演「難病の在宅療養ネットワーク:難病患者へのインフォームド・コンセントとレスパイト入院」
	*レスパイトとインフォームド・コンセントをテーマに実施。年度途中に起きた地震や台風等の災害をタイムリーに取上げた研修内容とした。	
令和元年度	令和元年12月3日(火) ・報告「患者・家族からみたレスパイト入院のニーズ調査結果」 ・災害対応について ・その他情報交換	令和2年3月7日(土)に予定されていた研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。
	*災害をテーマに実施。研修会では「難病患者の地域支援体制に関する研究」班、災害対策プロジェクトチームリーダー 溝口功一医師の講演会を予定していたが中止となった。	
令和2年度	*新型コロナウイルス感染症の影響で、会議、研修会とも、中止。	

8 食品衛生

食品等に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、令和2年度食品衛生監視指導計画に基づき、施設の監視指導を実施した。このうち、事故発生時に危害が拡大しやすいスーパーなどの大規模小売店や、食品製造施設については、重点監視対象施設として、食品衛生監視票を用いた監視指導や抜き取り検査等を実施した。

食中毒予防、食品衛生関係法令に基づく規制等について、リーフレットやホームページを作成し、市民や事業者等に啓発を実施した。また、令和2年6月に HACCP に沿った衛生管理が制度化したことを周知するため、食品等関連事業者に対してリーフレットの郵送等を行った。

また、食中毒の予防啓発事業として、全国的に多発しているカンピロバクター食中毒の発生を防止するために、市内の大学との連携による学内イントラネットでのリーフレット配信等により、同菌による食中毒との関連性が高い生又は加熱不十分の鶏肉の喫食を避けるよう啓発を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、当初計画していた製造所や給食施設の監視指導の大部分、収去検査の一部、食品衛生講習会等啓発事業の実施を中止した。

〈飲食店営業(居酒屋、焼き鳥屋等)に対するカンピロバクター食中毒予防の監視指導件数〉

	監視指導件数	概 要
平成30年度	2,270	申請時に加えて積極的に施設立入りし、加熱不十分な鶏肉の提供自粛を指導。
令和元年度	2,041	従前の方法に加え、過去に当該食中毒を起こしたか、又は加熱不十分な鶏肉の提供が引続き強く疑われる施設に対し、加熱不十分な鶏肉の提供自粛を強く指導。
令和2年度	601	申請時に施設立入りし、加熱不十分な鶏肉の提供自粛を指導。

〈吹田市内イベント(露店営業等)監視指導件数〉

	監視指導件数	吹田市内イベントでの食中毒発生件数
平成30年度	647	0
令和元年度	632	0
令和2年度	168	0

9 狂犬病予防・動物愛護管理

公衆衛生の向上と人と動物が共生する社会づくりのため、市報すいたやリーフレット等による普及啓発を行い、狂犬病予防法に基づく飼い犬登録と予防接種の推進、並びに動物の愛護及び管理に関する法律に基づく適正飼養の推進を図った。飼い犬登録等については、鑑札及び注射済票交付事務を市内動物病院でも実施できるよう業務委託を行い、実施率の向上を図った。また、放浪犬の捕獲収容業務、犬猫の引取り及び負傷動物の収容の他、愛護動物に関する苦情相談対応を実施した。

飼い猫等の過剰な繁殖による生活環境被害の軽減と殺処分数の削減を目的とし、超音波式猫忌避装置の貸出し及び避妊去勢手術費用の補助金交付事業を行った。

10 環境衛生

旅館、公衆浴場、理・美容所等の営業関係施設に対し、監視指導等を行い、衛生と安全の確保を図った。併せて、特定建築物や専用水道、遊泳場についても、維持管理状況調査を実施し、必要に応じて指導を行った。

また、感染症を媒介する蚊等健康被害を及ぼす衛生害虫の防除対策、井戸水・貯水槽の衛生管理等について、広報紙に記事を掲載し、市民に対し注意喚起を行った。

11 地区組織育成

(1) 吹田公衆衛生協力会

支部長 杉本 良一

会員数 192名(9団体)

食品並びに環境関係組合によって組織され、自主衛生管理の推進はもとより、食中毒予防、結核予防の啓発、献血推進キャンペーン、覚せい剤・シンナー等乱用防止啓発、精神障がい者職親推進、「ゲートキーパー宣言」事業推進等、健康で明るい地域社会の実現を目指し実践活動を行っている。

(2)大阪食品衛生協会吹田支部

会長 石井 博章

会員数 87名(6団体)

食品関係業者が食品事故防止のため、施設の自主衛生管理体制の確立、衛生講習会等の開催、消費者に対する食品衛生知識の普及等の実践活動を通じ食品の安全性の確保を図り、安全で豊かな地域社会づくりを目指している。

(3)吹田市給食研究会

※令和2年度より名称変更

会長 出口 都彦

会員数 73施設

給食施設関係者(病院、福祉施設、事業所、保育所等)によって昭和40年に結成され、栄養管理・給食管理知識の習得、地域の人々の健康づくりのため研修会等を行っている。また、より専門性を深めるため部会を設置し活動を行っている。

(4)精神障がい者家族会「のぞみ家族会」

精神障がい者家族が、障がいを理解し対応方法を話合う懇談会や、講演会を実施している。

(5)吹田市断酒会

アルコール依存症とその家族が体験談を通じて、断酒の継続を図っている。

(6)精神保健ボランティアグループ「アムール」

精神障がい者の施設などでボランティア活動を行っている。

(7)吹田の精神保健福祉を考える市民の会「こころの交差点」

市民に精神保健福祉に関する啓発活動を行い、毎年、精神障がい者理解促進講座を実施している。

令和2年度主要事業実施状況表

	I (4月～6月)	II (7月～9月)
保健医療室	医療相談 (4～6月) 吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議 (6月) 地域保健・健康増進事業報告 (6月) 新型コロナウイルス感染症に関する調整会議 (4月) 医療監視 (4～6月) 薬事監視 (4～6月) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 (6月)	医療相談 (7～9月) みんなの健康展 (9月) 保健師学生実習指導 (7・9月) 吹田市防災訓練 (9月) 豊能地域救急メディカルコントロール協議会 (書面開催) (7月) 新型コロナウイルス感染症に関する調整会議 (7月) 高齢者施設内感染対策リーダー育成研修 (8・9月) 医療監視 (7～9月) 薬事監視 (7～9月) 解毒剤等備蓄状況調査 (9月)

	Ⅲ (10月～12月)	Ⅳ (1月～3月)
保健医療室	薬と健康の週間 (10月)	医療相談 (1～3月)
	麻薬・覚醒剤乱用防止運動 (10・11月)	吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議 (2月)
	医療相談 (10～12月)	豊能地域救急メディカルコントロール協議会 (1月)
	保健所運営協議会 (10月)	豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修 (2月)
	保健師学生実習指導 (10月)	病院立入検査 (2月)
	新型コロナウイルス感染症に関する調整会議 (11月)	保健所圏域を超えた福祉施設における COVID-19 対策の問題と対策の共有に係る意見交換会 (3月)
	医療監視 (10～12月)	福祉施設等への新型コロナ感染防止対策研修 (3月)
	薬事監視 (10～12月)	医療監視 (1～3月)
	解毒剤等備蓄状況調査 (10～12月)	薬事監視 (1～3月)
		解毒剤等備蓄状況調査 (1月)
		濫用等のおそれのある医薬品販売状況調査 (1月)
	特定保健医療材料価格調査に係る調査客体精密化調査 (2月)	

【保健医療室】 新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業

防護服着脱訓練
 国民生活基礎調査
 乳幼児身体発育調査
 病院立入検査説明会
 豊能薬事懇話会
 豊能圏域病院連絡会
 吹田市医療審議会
 吹田市地域医療推進懇談会
 健康食品関係施設への合同監視指導
 病院立入検査 (定期)
 診療所 (有床) 立入検査 (定期)
 新型インフルエンザ等合同訓練
 移送車操作訓練
 参集訓練
 豊能心血管疾患地域医療連携推進会議
 麻薬・覚醒剤乱用防止運動

	I (4月～6月)	II (7月～9月)
衛生 管理 課	<u>食品衛生</u> 食中毒発生防止対策 (6月) 食品収去検査 (6月) 食品の適正表示の推進 (6月) HACCPに沿った衛生管理の周知啓発 (4～6月) 特定給食施設等指導 (4～6月) 給食研究会 (4～6月)	<u>食品衛生</u> 食品収去検査 (7～9月) 食品の適正表示の推進 (7～9月) HACCPに沿った衛生管理の周知啓発 (7～9月) 特定給食施設等指導 (7～9月) 給食研究会 (7～9月)
	<u>環境衛生</u> 遊泳場(プール)立入検査 (4・6月)	<u>環境衛生</u> 旅館立入検査 (7月) 理容所立入検査 (7月) 専用水道等立入検査 (8・9月)
	<u>動物愛護・狂犬病予防</u> 飼い猫等の避妊・去勢手術補助金事業 (5～6月)	<u>動物愛護・狂犬病予防</u> 飼い猫等の避妊・去勢手術補助金事業 (7～9月)

	Ⅲ (10月～12月)	Ⅳ (1月～3月)
衛生 管 理 課	食品衛生 食中毒発生防止対策 (11月) 食品収去検査 (10～12月) 食品の適正表示の推進 (10～12月) カンピロバクター食中毒予防啓発 (12月) HACCP に沿った衛生管理の周知啓 (10～12月) 特定給食施設等指導 (10～12月) 給食研究会 (10～12月)	食品衛生 食品収去検査 (1～3月) 食品の適正表示の推進 (1～3月) HACCP に沿った衛生管理の周知啓発 (1～3月) 特定給食施設等指導 (1～3月) 給食研究会 (1～3月)
	環境衛生 専用水道等立入検査 (10月) 旅館立入検査 (10月) 特定建築物維持管理状況調査 (12月)	環境衛生 特定建築物維持管理状況調査 (1月) 家庭用品試買調査 (2月) 遊泳場(プール)維持管理状況調査 (3月)
	動物愛護・狂犬病予防 飼い猫等の避妊・去勢手術補助金事業 (10～12月)	動物愛護・狂犬病予防 飼い猫等の避妊・去勢手術補助金事業 (1～2月)

【衛生管理課】 新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業

食品衛生

小学校給食施設一斉監視
食中毒予防講習会
大量調理施設・社会福祉施設等の監視
夏期食品一斉取締り
病院立入検査（給食施設）
ふぐ及びび生かき販売施設監視
年末食品一斉取締り
健康食品対策事業

環境衛生

興行場立入検査
公衆浴場立入検査
公衆浴場浴槽水水質検査
理容所衛生管理講習会（10月）
感染症媒介蚊サーベイランス（6月～9月）
【開設等に伴う現場検査は実施したが、定期立入を中止した事業】
美容所・クリーニング所立入検査
特定建築物立入検査

動物愛護・狂犬病予防

狂犬病予防集合注射

	I (4月～6月)	II (7月～9月)
地域保健課	難病 難病新規申請面接 (4～6月) 難病事例検討・報告会 (4～6月) 難病訪問リハビリ (言語聴覚士) (5月)	難病 難病新規申請面接 (7～9月) 難病事例検討・報告会 (7～9月) 難病訪問リハビリ (作業療法士・言語聴覚士) (7～8月)
	感染症 結核患者管理健診・家族健診・接触者健診 (4～6月) 北摂感染症の診査に関する協議会への諮問等 (4～6月) HIV・梅毒・クラミジア検査 (6月) HIVに関する大学への啓発 (5月)	感染症 結核患者管理健診・家族健診・接触者健診 (7～9月) 北摂感染症の診査に関する協議会への諮問等 (7～9月) 結核患者治療成績評価推進事業 (8月) 結核予防週間事業 (ポスター配布) (9月) HIV・梅毒・クラミジア検査 (7月)
地域保健課	精神保健福祉 こころの健康相談 (4～6月) 自殺未遂者相談支援事業 (いのちの相談支援事業) (4～6月) 精神保健福祉業務説明会 (6月)	精神保健福祉 こころの健康相談 (7～9月) 自殺未遂者相談支援事業 (いのちの相談支援事業) (7～9月) 吹田市自殺対策実務担当者会議 (9月) 自殺未遂者相談支援事業事例検討会 (9月) 自殺予防週間に係る市役所ロビーパネル展示 (9月)
	III (10月～12月)	
地域保健課	難病 難病新規申請面接 (10～12月) 難病事例検討・報告会 (10～12月) 難病訪問リハビリ (言語聴覚士) (10～11月)	精神保健福祉 こころの健康相談 (10～12月) 自殺未遂者相談支援事業 (いのちの相談支援事業) (10～12月) 精神科病院実地指導 (榎坂病院・阪大病院) (9月) アルコール教室 (大和大学) (10月) 吹田市自殺対策推進懇談会 (11月) 精神保健福祉業務説明会 (10月) 自殺予防対策研修 (小中学校教員対象) (10月) アルコール関連問題啓発週間に係る市役所ロビーパネル展示 (11月) ゲートキーパー養成研修 (大和大学) (12月)

IV(1月～3月)				
地域保健課	難病		精神保健福祉	
	難病新規申請面接	(1～3月)	こころの健康相談	(1～3月)
	難病事例検討・報告会	(1～3月)	自殺未遂者相談支援事業	
	難病講演会	(3月)	(いのちの相談支援事業)	(1～3月)
	感染症		自殺未遂者相談支援事業事例検討会	(1月)
	結核患者管理健診・家族健診・接触者健診	(1～3月)	精神保健福祉業務説明会	(3月)
	北摂感染症の診査に関する協議会への諮問等	(1～3月)	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会(圏域単位の協議の場)	
	結核患者治療成績評価推進事業	(3月)	自殺対策強化月間に係る市役所ロビーパネル展示	(3月)
	結核対策医療機関講習会	(2月)	市報すいた特集記事掲載	(2・3月)
	HIV・梅毒・クラミジア検査	(1～3月)		

【地域保健課】 新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業

難病

難病更新申請受付・面接
 就労相談会
 難病広域講演会
 難病に関する研修会
 大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議
 北ブロック保健所難病担当者会議
 管内医療機関との連携会議

感染症

HIV・梅毒・クラミジア検査 (4月、5月、8月、9月、10月)
 結核患者治療成績評価推進事業 (5月、11月)
 府政令中核市結核対策担当者会議
 府政令中核市感染症担当者連絡会議
 北ブロック感染症担当者会議
 エイズ予防週間実行委員会

精神保健

精神障がい者家族教室
 精神保健福祉市民講演会
 精神保健福祉関係機関職員研修
 豊能精神医療懇話会
 北ブロック保健所精神保健担当者会議

第9 活動の指標（市内3か年比較）

各年12月末日現在

項 目		平成29年	平成30年	令和元年		
面 積 (km ²)		36	36	36		
人 口 (人)	男	177,808	178,290	179,001		
	女	192,775	193,425	194,556		
	計	370,583	371,715	373,557		
世 帯 数		169,954	171,593	173,561		
人 口 密 度 (人/km ²)		10,294	10,325	10,377		
医 療 施 設	病 院	一般病院	14	14	14	
		結核療養所	0	0	0	
		精神科病院	1	1	1	
	診 療 所	一 般	数	328	339	343
			1施設当り人口	1,130	1,097	1,089
		歯 科	数	196	201	203
1施設当り人口			1,891	1,849	1,840	
人 口 動 態	出 生	実 数	3,181	3,229	2,949	
		人口千対	8.6	8.7	7.9	
		合計特殊出生率	1.38	1.42	1.31	
	死 亡	実 数	2,851	3,012	3,057	
		人口千対	7.7	8.1	8.2	
	乳児死亡 (再掲)	実 数	8	4	1	
		出生千対	2.5	1.2	0.3	
	自然増加	実 数	330	217	▲ 108	
		人口千対	0.9	0.6	▲ 0.3	
	死 産	実 数	45	61	65	
		出産千対	13.9	18.5	21.6	
	死 産 (自然のみ)	実 数	23	27	36	
		出産千対	7.1	8.2	11.9	
	婚 姻	実 数	1,735	1,691	1,848	
		人口千対	4.7	4.5	4.9	
	離 婚	実 数	516	507	506	
		人口千対	1.4	1.4	1.4	
	主 要 死 因 別 状 況	悪 性 新 生 物	実 数	867	903	903
			人口10万対	234.0	242.9	241.7
		心 疾 患	実 数	394	393	457
人口10万対			106.3	105.7	122.3	
肺 炎		実 数	179	199	188	
		人口10万対	48.3	53.5	50.3	
脳 血 管 疾 患		実 数	201	167	182	
		人口10万対	54.2	44.9	48.7	
不 慮 の 事 故		実 数	78	118	80	
		人口10万対	21.0	31.7	21.4	
自 殺		実 数	43	54	50	
		人口10万対	11.6	14.5	13.4	
肝 疾 患		実 数	45	47	38	
		人口10万対	12.1	12.6	10.2	

- (注) 1)面積は、「全国都道府県市区町村別面積調」(令和3年1月1日現在の面積(国土地理院))による。
 2)人口、世帯数は、吹田市住民基本台帳人口による。
 3)医療施設数は、保健所に開設の届出のある病院及び診療所数。
 4)人口動態は、各年の人口動態総覧、保健所・市町村別(大阪府主要健康福祉データ)による。

第10 事務事業執行概要

保健医療室事務概要

保健所内の総合調整、庁舎の維持管理をはじめ、管内の医療施設、施術所、薬局等に対する申請・届出・許認可や監査指導、各種医事免許の受付等の業務を実施。また、吹田市保健所運営協議会、豊能薬事懇話会、豊能地域救急メディカルコントロール協議会の運営や、地域医療推進懇談会等の地域医療推進事業を行っている。

さらに、高齢社会の進展や疾病構造の変化に伴って複雑多様化する市民の医療ニーズに適切に対応するため、大阪府医療計画、大阪府地域医療構想、大阪府健康増進計画、大阪府がん対策推進計画等に基づき、地域における保健・医療・福祉の関係機関と連携を図りながら、医療提供体制の整備や総合的な保健医療サービスの提供に努めるなど、広域的かつ専門的活動を実践している。

1 医事関係事務(根拠法令 医療法、歯科技工士法、保健師助産師看護師法等)

(1)市内の医事関係施設数(令和3年4月1日現在)

① 病院施設数及び病床数

施設数(カ所)			病床数(床)					
15	一般	精神	4,605	精神	感染症	結核	療養	一般
	14	1		412	0	0	320	3,873

② 診療所施設数及び病床数

一般診療所					歯科診療所				
施設数(カ所)			病床数(床)		施設数(カ所)			病床数(床)	
353	無床	有床	44	療養	療養以外	201	無床	有床	0
	350	3		0	44		201	0	

③ 助産所

施設数(カ所)			病床数(床)
23	無床	有床	
	22	1	1

④ 施術所

施設数(カ所)			
あはき	あはき(出張)	あはき(滞在)	柔整
289	132	0	188

※あはきとは、あん摩・マッサージ・指圧、はり、きゅうの略称です

⑤ 歯科技工所

施設数(カ所)
49

⑥ 薬局

施設数(カ所)
160

⑦ 衛生検査所

施設数(カ所)
5

(2) 医療機関や施術所等の開設許可や開設届出受理事務等の取扱状況

医療法等の各法令の規定に基づき、病院、診療所等の各種届出受付、許可等の事務を行っている。

令和2年度は、主に病院関係92件、診療所関係164件、施術所関係180件の届出等の受付事務や許可等を行った。

(令和2年度)

施設区分	項目	開設届	開設許可申請 ※	変更許可申請	変更届	構造設備使用許可申請 ※	廃止届 休止・再開届	総計
病院		0	0	55	3	34	0	92
診療所		39	26	12	62	0	25	164
助産所		8	0	0	0	1	1	10
歯科技工所		7			4		3	14
施術所 (あはき)		17			57		15	89
施術所 (あはき出張)		11					4	15
施術所 (あはき滞在)		0			0		0	0
施術所 (柔整)		15			49		12	76
合計								1,946,000
収入済額								1,946,000

※は手数料を要するもの

(3) 医事免許関係取扱件数

中核市移行に伴い、医師、歯科医師、保健師等の医療従事者免許に係る各種申請、届出等の受付処理事務を、大阪府との委託契約により実施している。

令和2年度は1,278件の申請・届出等の受付、処理を行った。

(令和2年度)

区分	総数	免許申請	訂正	書換交付	再交付	籍抹消	返納
総数	1278	613	314	309	26	16	0
医師法	105	52	21	19	2	11	0
歯科医師法	26	5	8	7	1	5	0
保健師助産師看護師法	880	421	220	219	20	0	0
診療放射線技師法	18	10	4	4	0	0	
臨床検査技師等に関する法律	32	20	6	6	0	0	0
理学療法士及び作業療法士法	89	41	23	23	2	0	
視能訓練士法	13	5	4	4	0	0	0
母体保護法 (受胎調節実施指導員指定証)	0	0	0	0	0	0	0
死体解剖保存法 (認定医)	0	0	0	0	0	0	0
薬剤師法	115	59	28	27	1	0	0

2 薬事関係事務(根拠法令 医薬品医療機器等法、毒物劇物取締法、臨床検査技師等に関する法律等)

(1) 事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

区 分		手 数 料 (円)	令和2年度 処 理 数	令和2年度末 現在未処理数
薬局	許 可 申 請	29,000	10	290,000
	更 新 申 請	11,000	22	242,000
	書 換	2,000	0	0
	再 交 付	2,900	0	0
薬局製剤製造業	許 可 申 請	11,000	0	0
	更 新 申 請	5,600	6	33,600
	書 換	2,000	0	0
	再 交 付	2,900	0	0
薬局製剤製造 販売業	許 可 申 請	6,300	0	0
	更 新 申 請	4,000	6	24,000
	書 換	2,000	0	0
	再 交 付	2,900	0	0
薬局製剤製造販売承認申請		37,800	0	0
店舗販売業	許 可 申 請	29,000	5	145,000
	更 新 申 請	11,000	7	77,000
	書 換	2,000	1	2,000
	再 交 付	2,900	0	0
高度管理医療機 器等販売・貸与業	許 可 申 請	29,000	31	899,000
	更 新 申 請	11,000	17	187,000
	書 換	2,000	5	10,000
	再 交 付	2,900	0	0
毒物劇物販売業	登 録 申 請	14,700	17	249,900
	更 新 申 請	6,400	17	108,800
	書 換	2,400	0	0
	再 交 付	4,000	0	0
衛生検査所 登録関係	登 録	80,000	3	240,000
	登 録 変 更	61,000	0	0
	書 換	8,200	0	0
	再 交 付	8,200	0	0
合 計				2,508,300
収 入 済 額		2,508,300		

イ 手数料を要しないもの

区 分	令和2年度 処 理 数	令和2年度末現 在 未 処 理 数
薬 局 関 係	167	0
店 舗 販 売 業 関 係	45	0
管 理 医 療 機 器 関 係	69	0
高 度 管 理 医 療 機 器 等 関 係	73	0
毒 物 劇 物 販 売 業 関 係	14	0
毒 物 劇 物 業 務 上 取 扱 者 関 係	13	0
衛 生 検 査 所 関 係	5	0
合 計	386	0

3 医療相談

市民に身近な地域において医療に関する相談や苦情に対応するため、医療相談窓口を整備し、医療の安全と信頼を高め、管内の医療機関における患者サービスおよび医療の質の向上に資するために相談事業を実施した。

相談・苦情受付件数(延べ数)

	計	電話	文書	来所	メール
平成30年度	224	205	2	17	0
令和元年度	247	230	0	16	1
令和2年度	206	188	2	13	3

4 医療機関の立入検査及び実地指導等

(1) 病院・診療所立入検査(根拠法令 医療法)

市内の病院に対し、医療の安全等に係る年1回の定期立入検査を実施し、助言や指導を行っている。

また、市内の有床診療所や人工透析を行っている診療所に対し、3年に1回の定期立入検査を、市内の無床診療所や歯科診療所等に対して、新規開設時に現地調査を行っている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、医療法第25条第1項及び立入検査要綱に基づいた病院・診療所の定期立入検査を原則中止したが、内容を限定した検査を一部の医療機関に実施し、適正な医療の提供の確保に努めた。

ア 病院立入件数(定期)

実施時期 令和3年2月

実施病院数 1病院

新型コロナウイルス感染症の影響により14病院への立入は中止とした。

イ 診療所立入件数(定期)

新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず

ウ 診療所立入件数(新規開設)

実施時期 新規開設時(移転開設時を含む)

実施診療所数 39 診療所

(2)精神科病院実地指導

精神保健及び精神障がい者福祉に関する法律第38条の6及び第38条の7に基づく実地指導を実施した。

実施時期 令和2年9月

実施病院数 2 病院

(3)厚生労働省医政局医事課長通知に基づき、あん摩マッサージ圧師、はり師、きゅう師、及び柔道整復師の業及び施術所の広告に関する指導を行った。

施術所数 475 施設(令和3年3月31日現在)

広告の指導実施数 8 件

5 薬事関係監視指導

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法、臨床検査技師等に関する法律及びそれら関係法令の遵守の確認のため、立入監視指導等を実施した。

施設数・申請の種別等		令和2年度 監視指導等件数
施設の区分		
薬局等医薬品販売業	薬局	33
	薬局製造販売医薬品製造・製造販売業	7
	店舗販売業	21
	計	61
医療機器販売業・貸与業	高度管理医療機器等販売業・貸与業	93
	管理医療機器販売業・貸与業	587
	計	680
毒物劇物販売業	一般販売業	20
	農薬用品目販売業	0
	特定品目販売業	0
	計	20
衛生検査所		1
計		762

6 薬事関連啓発事業

(1) 薬と健康の週間に関する啓発

薬と健康の週間(10月17日～10月23日)に向け、7月号の市報に大阪府薬剤師会主催の小学生向けポスターと社会人向け川柳の募集案内を掲載した。また、同週間の期間中、市役所、保健所内、阪急沿線駅構内(市内の7駅)及び桃山台駅において、ポスター掲示による啓発を行った。

(2) 薬物乱用防止に関する啓発

ア 5月(不正大麻・けし撲滅運動)、6月(「ダメ。ゼッタイ。」普及運動)及び10月(麻薬・覚醒剤乱用防止運動月間)に市広報、1月には新成人向けの市ポータルサイトに薬物乱用防止等の啓発記事を掲載した。

イ 一般社団法人吹田市薬剤師会と共同で薬物乱用防止啓発用のポスター及びクリアファイルを作成した。作成に当たっては、大阪アニメーションカレッジ専門学校の学生から募集した作品を市役所及び保健所において展示し、職員や市民の投票による得票数の多かったものを採用した。作成したクリアファイルは、薬学生の実習や市内の小学校での薬物乱用防止教室等で活用するため配布し、また、ポスターについては、令和3年度の6～7月の「ダメ。ゼッタイ」普及運動や10月～11月の麻薬・覚醒剤乱用防止運動期間に市内各所での掲示を予定している。

ウ 大阪学院大学や吹田市薬剤師会の依頼で、同大学生や薬学実習生に対する薬物乱用防止講習会を開催した。

エ 市内の学校薬剤師等による薬物乱用防止教室で用いられる薬物乱用防止啓発リーフレットを作成・配布した。

7 その他薬事関連事業

(1) 薬局へのアンケート及び自己点検

一般社団法人吹田市薬剤師会の協力で、「吹田市かかりつけ薬剤師・薬局に関するアンケート」を市内の会員薬局に対して行った。この結果は、市内の薬局の今後の運営のための基礎資料として、次年度開催の豊能薬事懇話会にて公表する。

また、市内全薬局及び全店舗販売業者対象として、「濫用等のおそれのある医薬品」の販売対応状況について自己点検するよう通知し、「濫用等のおそれのある医薬品」の各店における販売状況の確認と改善指導を実施した。

(2) 医療機関に対する医薬品等安全管理体制の確認と災害対応状況の調査の実施

市内15病院を対象に、医薬品等の安全管理体制に関する自己点検と災害等の対応状況に関するアンケートを実施し、通常の医薬品等の管理状況と災害等非常事態時の医薬品等の供給・管理体制について現状確認を行った。

(3) 毒物劇物等薬物中毒に対する解毒剤の備蓄状況調査

保健所における危機管理業務の一環として、毒物劇物等薬物中毒発生時に迅速な対応が行えるよう、市内の二次救急指定病院等を対象に「毒物劇物等薬物中毒に対する解毒剤の備蓄状況調査」を茨木保健所生活衛生室薬事課と実施した。その結果及び連絡体制を関係機関(病院、警察、消防、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会)と共有した。

今後も、より一層の危機管理体制整備を図るために、本事業を継続していく。

8 保健所運営協議会(根拠法令 地域保健法)

(1)開催状況

開催年月日	出席委員	会議内容
令和2年10月 新型コロナウイルス感染症 の感染拡大防止のため書面 開催	—	(1)吹田市保健所運営協議会の運営について (2)吹田市保健所における新型コロナウイルス感染症 に対する取組

(2)吹田市保健所運営協議会名簿

令和3年4月1日現在

(全11人・50音順)

番号	役職名	氏名	備考
1	大阪大学(医学系研究科)教授	磯 博康	
2	吹田市医師会 会長	川西 克幸	
3	吹田市社会福祉協議会 常務理事	北本 恒雄	
4	吹田公衆衛生協力会 会長	杉本 良一	
5	吹田市薬剤師会 会長	立木 靖子	
6	千里金蘭大学(看護学部)教授	土井 有羽子	
7	吹田市歯科医師会 会長	疋田 陽造	
8	大阪府吹田警察署 署長	舟木 善寛	
9	吹田商工会議所 副会頭	古川 國久	
10	大阪府助産師会吹田班 班長	増田 百合子	
11	吹田市健康づくり推進事業団 理事長	三谷 一裕	

9 豊能薬事懇話会

(1)概要

豊能薬事懇話会は、大阪府医療計画に基づき、豊能二次医療圏内における薬事に関連事項の推進を目的として保健医療関係者等が意見交換を行う会議である。「患者のための薬局ビジョン」により、将来の薬局のあり方が示されたことや、昨今、医薬品等に関する問題が頻繁に発生していることに関連し、令和元年に医薬品医療機器等法的大幅な改正がなされた。従って、地域医療の一端を担っている薬局のあり方をめぐる議論や医療機関・地域と薬局の連携情報交換のための本懇話会の開催の必要性は高いが、令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和2年度の開催を見合わせたため、次年度に向け、より充実した内容の会議の開催を目指す。

(2) 委員名簿

令和3年3月31日現在

番号	氏名	所属	備考
1	林 良紀	箕面市薬剤師会 会長	
2	村田 勇二	箕面市医師会 副会長	
3	清水 達也	池田市歯科医師会 会長	
4	芦田 康宏	豊中市薬剤師会 会長	
5	中村 圭子	池田市薬剤師会 会長	
6	立木 靖子	吹田市薬剤師会 会長	
7	勝浦 正人	吹田市民病院 薬剤部長	
8	杉本 幸恵	大阪府薬剤師会 理事	
9	松岡 太郎	豊中市健康医療部 部長兼保健所長	
10	岡田 和也	池田市子ども・健康部 部長	
11	前村 誠一	吹田市健康医療部長	
12	北村 清	箕面市健康福祉部 部長	
13	上浦 登	豊能町生活福祉部 部長	
14	藤原 伸祐	能勢町健康福祉部 部長	

10 豊能地域救急メディカルコントロール協議会

(1) 概要

大阪府医療計画に定められた二次医療圏の豊能地域における救急搬送体制及び救急医療体制の向上に資するため、消防機関と医療機関が一体となったメディカルコントロール体制と救急医療機関の受入体制の充実を図ることを目的に開催している。今年度より豊能メディカルコントロール協議会と一体化された。

また、地域活動検証において、救急活動検証に加え実施基準検証を開始した。

(2) 会議開催状況

懇話会名	開催年月日	出席 委員	会議内容
第1回豊能地域救急メディカルコントロール協議会 (書面会議)	R2.7.22	20人	<ul style="list-style-type: none"> ・MC協議会設置要綱・委員名簿について 危機管理室からの情報提供 ・教育小委員会からの報告 ・検証小委員会からの報告

第2回豊能地域救急メディカルコントロール協議会	R3.1.22	17人	<ul style="list-style-type: none"> ・傷病者の搬送及び受入れの実施基準 医療機関リスト(消防機関向け)について ・大阪府救急搬送支援・情報収集分析システム(ORION)を用いた救急搬送指標について ・実施基準検証について
-------------------------	---------	-----	--

(3) 委員名簿

令和3年3月31日現在

番号	氏名	所属	備考
1	嶋津 岳士	大阪大学医学部附属病院	会長
2	飯尾 雅彦	豊中市医師会	副会長
3	渡邊 正	吹田市消防本部	副会長
4	中川 理	市立豊中病院	
5	三好 秀也	豊中市消防局	
6	林 靖之	大阪府済生会千里病院	
7	酒井 智彦	大阪大学医学部附属病院	
8	田原 良雄	国立循環器病研究センター	
9	平山 博	大阪府済生吹田病院	
10	渡邊 太郎	関西メディカル病院	
11	巽 孝彦	巽病院	
12	公文 啓二	吹田徳洲会病院	
13	松浦 光洋	箕面市消防本部	
14	藪田 浩一	市立吹田市民病院	
15	若山 暁	大阪脳神経外科病院	
16	青谷 憲和	池田市消防本部	
17	高井 康之	大阪府医師会	
18	川西 克幸	吹田市医師会	
19	山口 充洋	箕面市立病院	
20	今井 康陽	市立池田病院	

11 病院連絡会

(1) 概要

将来の医療需要に見合ったあるべき医療提供体制の構築に向け、医療機能の分化・連携を推進するため、管内全ての病院が一同に集まり各病院の今後の方向性について協議を行う。

(2) 会議開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、開催中止

12 豊能心血管疾患地域医療連携推進会議

(1) 概要

第5次保健医療計画に基づき、平成20年度より、圏域で4疾病(脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、がん)の地域連携バス導入に着手し、吹田保健所は急性心筋梗塞を担当している。

平成30年度からは、第7次医療計画に基づく地域医療連携推進事業において、対象疾患に心不全等を含めた心血管疾患等に拡大し、診療情報提供書を活用した病診連携の推進を行っている。

(2) 会議開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、開催中止

(3) 委員名簿

令和3年3月31日現在

	委員	所属	備考
1	野口 暉夫	国立循環器病研究センター	座長
2	泉 知里		
3	中西 道郎		
4	大濱 透	大阪大学医学部附属病院	
5	奥田 啓二	大阪府済生会千里病院	
6	石神 賢一	大阪府済生会吹田病院	
7	黒住 祐磨	マックシール巽病院	
8	天野 知徳	吹田徳洲会病院	
9	永井 邦彦	市立池田病院	
10	北尾 隆	箕面市立病院	
11	熊田 全裕	市立豊中病院	
12	福田 憲二	市立吹田市民病院	
13	石河 開	池田市医師会	
14	村田 勇二	箕面市医師会	
15	澤村 昭彦	豊中市医師会	
16	財田 滋穂	吹田市医師会	

13 吹田市医療審議会

(1) 概要

吹田市の施策として実施する一次救急医療、在宅医療、災害時医療等の医療関係諸問題等に関する案件について報告・審議を行っている。

(2) 会議開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、開催中止

(3) 委員名簿

令和3年3月31日現在

	委員	所属	備考
1	川西 克幸	吹田市医師会	
2	御前 治		
3	相馬 孝		
4	疋田 陽造	吹田市歯科医師会	
5	千原 耕治		
6	立木 靖子	吹田市薬剤師会	
7	飯原 弘二	国立循環器病研究センター	
8	土岐 祐一郎	大阪大学医学部附属病院	
9	中谷 敏	済生会千里病院	
10	島 俊英	済生会吹田病院	
11	矢野 雅彦	市立吹田市民病院	
12	今村 知明	奈良県立医科大学	

14 吹田市地域医療推進懇談会

(1) 概要

今後一層の進展が見込まれる高齢化に対し、大幅に増大する在宅医療等の医療需要に見合った必要な在宅医療の環境づくりの推進や、かかりつけ医等の定着促進等、地域医療の推進を目的に、医療提供者主体における検討を行っている。

(2) 会議開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、開催中止

(3) 委員名簿

令和3年3月31日現在

	委員	所属	備考
1	戸川 雅樹	吹田市医師会	
2	千原 耕治	吹田市歯科医師会	
3	大森 万峰子	吹田市薬剤師会	
4	泉 知里	国立循環器病研究センター	
5	竹屋 泰	大阪大学医学部附属病院	
6	岩間 紀子	済生会千里病院	
7	小山 信一	済生会吹田病院	
8	戒井 力	市立吹田市民病院	
9	田村 学	日本在宅医療連合学会	
10	新田 美和子	吹田市介護保険事業者連絡会 訪問看護事業者部会	
11	福井 小紀子	東京医科歯科大学大学院 (大阪大学大学院)	

15 吹田市地域医療推進市民講演会

(1) 概要

市民に医療機関の役割や在宅療養という選択肢を知り考えていただくことを目的とし、「かかりつけ医等の定着促進・在宅療養・看取り」の主に3つのテーマについて、市民シンポジウムや市民講演会を開催している。

(2) 開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、開催中止

16 豊能二次医療圏救急医療対策事業

豊能医療圏に属する吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の4市2町が休日・夜間における入院治療を必要とする重症患者を受け入れる医療機関に対し、その運営費の一部を補助し、地域における救急傷病者への医療体制の整備を図るもの。

【決算額】

項目	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)
決算額 (円)	14,574,000	14,656,844	14,672,682	14,827,145	14,678,264

17 豊能広域こども急病センター事業

小児の一次救急を整備するため、平日の夜間、日曜日、祝日、年末年始の小児一次救急患者を診察する「豊能広域こども急病センター」の管理運営費用を吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の4市2町が負担。

【決算額】

項目	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)
決算額 (円)	21,293,335	13,267,822	3,604,060	5,172,376	52,071,000

18 地域のネットワーク会議等

管内の健康づくり、医療・介護サービスの提供体制、危機管理における関係機関相互の連絡調整等を行うため、関係機関等主催の各種会議に参画し、具体的な方策の検討等を行った。

会議名	保健所 参加回数	参加機関等	事務局	内 容
北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議	0回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、国立循環器病研究センター、吹田市民病院、吹田市、摂津市、保健所(吹田・茨木)等	健康まちづくり室	北大阪健康医療都市(吹田操車場跡地)を中心とした健康・医療のまちづくりの推進のため、新たに地域医療の在り方などについて協議する。
吹田市地域ケア会議 ・ブロック別定例会 ・調整会議 ・地域包括ケア会議	6回 2回 1回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、民生・児童委員協議会、地区福祉委員会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、高齢支援課、障がい福祉室、生活福祉課、居宅介護支援事業者、サービス事業者、ボランティア団体、保健所 他	高齢福祉室	保健、医療、福祉、並びに地域の関係機関の円滑な連携の下、支援を要する者に効果的な支援ができるように関係機関のネットワークの形成及び推進を図り、地域のさまざまな社会資源を総合的に提供できるような総合調整を図る。

吹田市地域包括支援センター運営協議会	2回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、自治会、民生・児童委員協議会、社会福祉協議会、居宅介護支援部会、大阪府介護支援専門員協会、ボランティア連絡会、被保険者代表、保健所	高齢福祉室	地域包括支援センターの公平性と中立性を確保し円滑かつ適正な運営確保について協議する。
吹田市域ケアネット実務者懇話会	2回	医師会、高齢支援室、地域包括支援センター、居宅介護支援部会、市内の病院、保健所	高齢福祉室	医療とケアの円滑な連携を図るための方策を検討する。
ケアマネ塾	2回	医師会、居宅支援事業所部会、高齢支援課、保健所	高齢福祉室	ケアマネジャーのスキル向上を目的とした、研修会やお兼鋼管を実施。
吹田市在宅医療・介護連携推進協議会	2回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、市内の病院、介護保険サービス事業者、高齢福祉室、保健医療室	高齢福祉室	在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、在宅医療と介護の連携強化に関して協議する。
吹田市健康すいた21推進懇談会	2回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、学識経験者、PTA協議会、体育振興連絡協議会、商工会議所、関係団体、公募市民、保健所	保健センター	市民一人ひとりが、主体的に健康づくりに取り組むことで健康の保持・増進を図ることを目的に、健康づくりの取組みに対して関係機関が連携し、必要な協議をする。
豊能医療圏域がん医療ネットワーク協議会	2回	圏域医師会、がん診療拠点病院、市町村保健主管課、大阪府健康づくり課、大阪国際がんセンター、大阪府がん循環器病予防センター、保健所	市立豊中病院	豊能圏域におけるがんに対する地域連携体制を構築し、地域におけるがん医療水準の向上を図るため協議する。
吹田市学校保健会 理事会 運営委員会	3回 2回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、教育委員会、小中学校、教育センター、保健センター、保健所	吹田市教育委員会 学校教育部 保健給食室	吹田市における学校保健の振興を図り、学校教育の円滑な実施について協議する。

19 健康危機管理に対する取組

(1) 管内における感染防止体制の構築

ア 吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議

事業名	対象	日程	主な内容
吹田市保健所 管内院内感染 対策連絡会議	管内 15 病院 感染対策 担当者	R2.6.3	<ul style="list-style-type: none"> 参加施設:管内 15 病院 方法:オンライン会議 講義:新型コロナの院内感染対策等について 報告:新型コロナの対応について(大和病院、吹田市保健所)
		R3.2.5	<ul style="list-style-type: none"> 参加施設:管内 15 病院 方法:オンライン会議 講義:新型コロナウイルス感染症について 報告:新型コロナの対応について、高齢者施設への支援状況について
院内感染 対策に係る 支援チームの派 遣	管内病院 管内 高齢者施設	随時	<ul style="list-style-type: none"> 施設における感染対策の助言 施設内ラウンド
高齢者施設等 の感染症対策 研修支援	管内 高齢者施設	随時	<ul style="list-style-type: none"> 施設内ラウンド 感染対策リーダー育成研修(全 2 回)
福祉施設等へ の感染症対策 支援	管内 福祉施設	R3.3.24	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ感染防止対策研修

イ 北摂地域の福祉施設等への新型コロナウイルス感染症に関する支援チーム派遣について

福祉施設等におけるクラスターの多発を受け、2月16日にICNと行政(保健所・福祉担当)との保健所圏域を超えた、福祉施設等への新型コロナウイルス感染対策に関する意見交換会を実施。

地域によって医療資源に差があることから迅速な対応のため、北摂地域の福祉施設等への支援チーム派遣について提案し、承認された。

(2) 新型コロナウイルス感染症に関する調整会議

新型コロナウイルス感染症の感染状況等に関する現状共有と、全医療機関の協力による医療提供体制について協議・検討を行う。

会議内容

日程	対象	主な内容
R2.4.9	管内 15 病院、3 師会、吹 田市消防本部	新型コロナウイルス感染症患者増加を見据えた医療提供体制に関する情報共有
R2.4.16		新型コロナウイルス感染症患者の受入病床の確保と救急医療体制の維持について
R2.7.30		検査体制の拡充と院内感染対策の強化について

R2.11.13	発熱患者等の相談・診療・検査体制について
----------	----------------------

(3) 所内における健康危機管理体制の整備

事業名	日程	内容
災害マニュアル更新	随時	吹田市保健所版アクションカード及びレファレンスシートの作成
危機管理に要する物品整備	随時	危機管理物品の整理と非常用発電機定期点検
豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト 研修	R3.2.20	コロナ禍における複合災害について (机上シミュレーションをオンライン研修で参加)

20 統計事務

(1) 各種調査

名称	調査基準日	対象	件数	調査内容
人口動態調査業務	通年	吹田市全域	—	各種人口動態調査票について、審査、照会、回答、移送等の業務
国民生活基礎調査	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止			

21 保健所業務の総合調整

(1) 保健所内の総合調整

保健所における事業の円滑な推進を図るため、各室課間の総合調整を行っている。

(2) 関係機関との連絡調整

保健所における保健医療施策の推進や、大規模災害時の医療提供体制、新型インフルエンザ等感染症対応の協力体制の整備等のため、医療関係機関との連絡調整を行っている。

(3) 各種会議の開催

保健所運営協議会、豊能薬事懇話会、豊能地域救急メディカルコントロール協議会等を開催し、関係機関が相互に連携することにより、健康危機管理体制や保健医療提供体制の充実強化に努めている。

22 施設設備の管理及び整備

(1) 庁舎の維持管理状況

区 分	施工内容	数量	金額 (円)	竣工年月日
施設改修	保健所内電話設備増設等 (執務室移転のため)	1	2,013,000	令和2年10月16日
施設改修	保健所給水管敷設 (水漏修繕のため)	1	1,045,000	令和3年3月29日
施設改修	保健所内トイレ改修	1	1,299,650	令和3年3月22日
施設改修	保健所事務室電話設備修繕等 (執務室移転のため)	1	910,800	令和3年3月26日
施設改修	空調設備(ACU-2)修繕	1	759,000	令和3年3月22日
施設改修	空調設備修繕(空調機冷温水3方弁交換)	1	1,288,452	令和3年3月22日
施設改修	保健所職員用臨時駐車場、出入口ゲート設置	1	1,287,000	令和3年3月26日
施設改修	その他修繕業務	16	2,257,574	随時

(2) 主たる備品の購入状況

(1件10万円以上)

品 名	規格型式	数量	単価	金額	購入年月日
災害医療用 簡易テント	ミスタークイック NW-3030	2	130,273	260,546	令和2年6月4日
災害医療用 スポットクーラー	DENSO 10H-K	1	209,000	209,000	令和2年11月27日
衛星電話	ワイドスターII	1	389,950	389,950	令和3年1月20日

23 保健衛生関係の表彰

(1) 個人

- ① 厚生労働大臣表彰(食品衛生功劳) 該当なし
- ② 大阪府知事表彰(食品衛生功劳) 1名
- ③ 大阪府知事表彰(環境衛生功劳) 該当なし

(2) 団 体

- ① 厚生労働大臣表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ② 大阪府知事表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ③ 大阪府知事表彰(環境衛生功労) 該当なし

(3) 施 設

- ① 大阪府知事表彰(食品) 飲食店営業施設等 2施設
- ② 大阪府知事表彰(環境) 理容所、美容所施設等 3施設
- ③ 公衆衛生協力会優良施設(所長・協力会長)表彰(新型コロナウイルス感染症のため中止)

24 厚生労働統計関係の表彰 該当なし

25 研修及び実習指導関係

(1) 医師臨床研修

対象: 社会福祉法人恩賜財団済生会吹田病院 初期臨床研修医

期間: 令和2年4月1日～令和3年3月31日

内容: 保健所における予防医療理解のため、結核管理家族検診に各1～2名見学

(2) 医師学生実習 なし

(3) 保健師学生等実習指導

区 分	派遣元の施設名	期 間	日数	人員	指 導 内 容
保健師 学生	大阪医専	令和2年9月23日～ 令和2年9月25日	3	5	保健所における 公衆衛生活動に ついての指導
	大阪府立大学	令和2年10月14日～ 令和2年10月16日	3	5	

衛生管理課事務概要

市民の生活衛生の維持向上及び安全確保を図るため並びに愛護動物の適正飼養等を推進するため、関係機関と密接に連携をとりながら食品衛生、環境衛生、狂犬病予防及び動物愛護の各業務を実施した。

1 食品衛生

(根拠法令: 食品衛生法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律、大阪府ふぐ処理業等の規制に関する条例、食品表示法)

食品衛生法等の関係法令に基づき、飲食店営業等の食品営業許可等の許認可事務を実施した。

許可を要する施設及び集団給食等の許可を要しない施設等の食品関係施設に立ち入り、施設の衛生管理、食品の衛生的取扱い、適正表示等について監視指導を実施した。

医師、患者、他自治体等からの食中毒を疑う事例の通報等に基づき、患者調査、検査、施設立入調査等の食中毒調査を実施した。なお、令和2年度に食中毒と断定した事例は1件であった。

市内で製造、加工、販売等される食品等について、違反の可能性が比較的高いと考えられる食品等に対し、流通量の季節的変化、規格基準及び衛生規範等を考慮し、収去検査を実施した。

食中毒の原因となった施設や残留農薬等の規格基準に適合しない食品に対しては、法令に基づき営業の禁停止、食品等の回収・廃棄等の行政処分を実施するが、令和2年度については該当事例の発生はなかった。

食品の異物混入、摂食後の体調不良等の苦情や営業者からの許認可、衛生管理等の相談に対し、調査、指導等を実施した。

食品衛生に関する知識や食中毒予防の普及啓発を目的とし、食品等事業者や消費者に対し、衛生講習会、啓発キャンペーン等を実施しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見合わせた。一方で、出前やテイクアウトを行う飲食店営業者からの相談の増加に対応するために衛生管理上の注意点等をまとめた啓発媒体を配布した。また、食品等事業者に対するHACCPに沿った衛生管理の啓発や管内大学の学生に対するカンピロバクター食中毒予防啓発等、市ホームページでの発信や大学内イントラネットを活用した発信により、食品衛生の普及啓発を実施した。

医師、施設等からの感染症に関する届出や報告のうち、感染性胃腸炎等については、地域保健課感染症担当と連携し、摂食した食品に起因する可能性がないか調査を行うとともに施設関係者への衛生指導等を実施した。

(1)監視指導

ア 許可を要する営業施設監視指導状況

業 種 別	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数
飲 食 店 営 業	3,103	1,240	3,115	1,264	3,076	751
菓 子 製 造 業	437	287	435	292	449	106
乳 製 品 製 造 業	4	4	4	8	5	3
魚 介 類 販 売 業	228	156	229	182	227	53
魚 肉 ね り 製 品 製 造 業	3	3	3	7	2	1
食 品 の 冷 凍 又 は 冷 蔵 業	16	17	17	17	19	8
び ん 詰 食 品 製 造 業	5	4	6	10	4	2
喫 茶 店 営 業	406	138	368	131	333	81
あ ん 類 製 造 業	0	1	0	0	0	0
ア イ ス ク リ ー ム 類 製 造 業	19	13	20	20	24	7
乳 類 販 売 業	434	202	401	230	379	73
食 肉 処 理 業	16	24	13	26	13	3
食 肉 販 売 業	246	183	248	200	261	77
食 肉 製 品 製 造 業	2	3	3	6	3	3
食 用 油 脂 製 造 業	1	1	1	2	1	0
み そ 製 造 業	1	0	1	1	1	0
醬 油 製 造 業	0	0	1	1	1	0
ソ ー ス 類 製 造 業	4	3	4	6	4	1
酒 類 製 造 業	1	1	1	2	1	0
豆 腐 製 造 業	3	2	2	10	3	1
め ん 類 製 造 業	11	7	12	17	16	6
そ う ざ い 製 造 業	41	46	39	70	44	20
添 加 物 製 造 業	5	3	5	4	5	0
清 涼 飲 料 水 製 造 業	5	6	4	5	4	0
氷 雪 販 売 業	3	6	4	3	4	0
合 計	4,994	2,350	4,936	2,514	4,879	1,196

イ 許可を要しない営業施設監視指導状況

業 種 別		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		施設数	監視回数	施設数	監視回数	施設数	監視回数
集団給食	学校(調理校)	34	10	34	8	34	0
	病院・診療所	14	5	14	10	15	0
	事業所	2	3	2	0	5	0
	その他	49	0	53	29	87	4
	小計	99	18	103	47	141	4
乳さく取業		0	0	0	0	0	0
食品製造業		18	8	16	16	16	3
野菜・果物販売業		9	161	10	142	10	0
そうざい販売業		5	202	5	140	5	0
菓子(パンを含む)販売業		6	286	6	163	6	0
上記以外の食品販売業		20	305	20	175	20	0
添加物(規格の定められたものを除く)製造業		0	0	0	0	0	0
添加物販売業		4	149	4	139	4	0
器具・容器・包装・おもちゃ	製造業	3	0	5	6	5	0
	販売業	5	177	5	138	5	0
合 計		169	1,306	174	966	212	7

ウ 府条例により許可を要する営業

業 種 別		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		施設数	監視回数	施設数	監視回数	施設数	監視回数
ふぐ処理業	飲食店営業	35	7	35	16	34	5
	魚介類販売業	21	14	24	22	21	7
	その他	2	1	1	0	1	0
	合 計	58	22	60	38	56	12

エ 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に規定する営業

業 種 別	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	施設数	監視回数	施設数	監視回数	施設数	監視回数
食鳥処理場(30万羽以上処理)	0	0	0	0	0	0
認定小規模食鳥処理場(生体から処理)	0	0	0	0	0	0
認定小規模食鳥処理場(と体から処理)	5	2	5	5	5	0
合 計	5	2	5	5	5	0
届出食肉販売業	0	0	0	0	0	0
合 計	5	2	5	5	5	0

(2)食中毒

ア 食中毒発生状況(管内)

30年度	令和元年度	令和2年度							
施設数	施設数	発生年月日	発生場所	患者数	症状	原因食品	原因物質	原因施設	備考
2	1	令和2年 10月11日	吹田市	1	腹痛	不明	アニサキス	不明	

イ 食中毒関連調査(他府県市等管外からの依頼調査)

平成30年度			令和元年度			令和2年度			備 考
調査件数	調査人数	患者数	調査件数	調査人数	患者数	調査件数	調査人数	患者数	
36	52	51	15	18	11	13	15	14	

ウ 食中毒等関連検査

検体名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
食 品	0	5	0
便	73	41	17
吐 物	0	0	0
ふきとり	0	7	0
容 器	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	73	53	17

(3)食品等の検査

検 体 名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
魚 介 類	14	17	9
冷 凍 食 品	0	2	2
魚 介 類 加 工 品	10	12	10
肉・卵類及びその加工品	51	49	28
乳 製 品	12	11	5
乳 類 加 工 品	0	0	0
アイスクリーム類・氷菓	4	4	0
穀類及びその加工品	1	1	1
野菜類・果物及びその加工品	50	47	23
菓 子 類	4	1	2
清 涼 飲 料 水	3	4	3
水	2	2	1
酒 精 飲 料	0	0	0
かん詰・びん詰食品	3	7	7
そ の 他 の 食 品	8	10	4
器 具 容 器 包 装	2	2	1
添加物化学的合成品	0	0	0
小 計	164	169	96
生乳・牛乳・加工乳等	8	7	1
ふきとり検査	0	0	0
そ の 他	60	64	22
合 計	232	240	119

(4)違反処分の状況

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
違反 件数	業種	違反 内容	措置	違反 件数	業種	違反 内容	措置	違反 件数	業種	違反 内容	措置
1	魚介類 販売業	法 第 11 条 第2項 違反	回収命 令			無し				無し	

法:食品衛生法

(5) 食品衛生事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

区 分	平成30年度処理数	令和元年度処理数	令和2年度処理数
食品衛生法に基づくもの	903	787	980
府条例に基づくもの	1	5	4
食鳥関係に基づくもの	0	0	0
合 計	904	792	984
当年度収入済額	12,031,740円		

イ 手数料を要しないもの

区 分	平成30年度 処理数	令和元年度 処理数	令和2年度 処理数
食品衛生法に基づく各種届	831	1,044	880
府条例に基づく各種届	29	18	11
食鳥関係に基づく各種届	2	0	0
証 明 願	31	17	21
その他各種届(臨時出店届等)	223	213	5

(6) 苦情・相談処理状況

	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	苦情	相談	合計	苦情	相談	合計	苦情	相談	合計
処理件数	145	3,441	3,586	124	2,681	2,805	65	724	789

(7) 衛生教育・啓発キャンペーン実施状況

日時	場所	対象者	参加者	内容等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず				

(8) 感染性事例に係る業務実績 6件

調査年月日	件名	出動人数
令和2年6月11日	61歳女性 腸管出血性大腸菌(O111)感染症	1名
令和2年8月14日	23歳女性 腸管出血性大腸菌(O157)感染症	1名
令和2年8月24日	32歳女性 腸管出血性大腸菌(O157)感染症	1名
令和3年2月3日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	2名
令和3年2月14日	老健施設 感染性胃腸炎の集団発生	2名
令和3年2月18日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	1名

2 環境衛生

(根拠法令 公衆浴場法、旅館業法、興行場法、理容師法、美容師法、水道法、建築物衛生法等)

(1) 監視指導

ア 生活衛生関係営業施設

生活衛生関係営業施設(理容所、美容所、クリーニング所、旅館、興行場及び公衆浴場)について、法令に基づき許可又は確認を行うとともに、衛生措置基準の遵守、施設の維持向上を図るため監視指導を行った。

理容所、美容所に関しては、営業者が自主管理体制の推進を図るよう、器具の適正な消毒に関するリーフレットを作成、配布するとともにホームページにも掲載を行い、啓発を行った。

イ 遊泳場

「大阪府遊泳場条例」に基づき、遊泳場における公衆衛生の確保と危険の防止を図るため、維持管理状況調査を実施し、必要に応じて指導を行った。

ウ 建築物衛生対策

建築物衛生法に基づき特定建築物に係る各種届出の受理を行うとともに、衛生管理基準の遵守、管理記録の整備等の指導を行った。

エ 住居衛生対策

快適な住環境を確保するため、住まいの相談に対して助言や情報提供を行った。

オ 民泊

住宅宿泊事業法に基づき、各種届出の受理、届出施設への助言指導を行った。

カ レジオネラ対策

公衆浴場法等の規制を受けない社会福祉施設等における浴場施設について、レジオネラ属菌の検出時等に、立入調査や必要な助言を行った。

キ 家庭用品

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、ベビー服・下着等の衣料品等を購入し、規制基準に適合しているかどうかの検査を実施した。

ク 水道

水道法に基づき、専用水道における衛生管理についての指導を行った。特に水質基準を超過した専用水道施設について、重点的に監視を行い、施設の適正な管理を指導し、改善したことを確認した。同じく水道法に基づき、簡易専用水道について、定期検査結果から不適もしくは概ね適の施設に対し改善指導を行った。また、小規模貯水槽水道についても、必要に応じ受水槽管理の指導を行った。

ケ 温泉

大阪府の依頼により、温泉の利用状況調査を行った。

コ その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図るため、理容所、美容所等の生活衛生営業関係施設の営業者や特定建築物の所有者等に対して、換気や消毒等の感染防止対策について、市ホームページを活用し、広報啓発を行った。

(2) 監視指導状況

ア 監視件数

施設名	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	施設数	監視数	施設数	監視数	施設数	監視数	
営業関係施設	旅館	19	30	18	27	15	5
	興行場	4	7	4	5	5	1
	公衆浴場	26	44	24	52	23	0
	理容所	173	81	171	60	174	16
	美容所	435	167	450	137	475	51
	クリーニング所 ^{※2}	197	71	187	56	258	8
水道関係	専用水道	18	24	17	27	14	15
	特設水道	1	3	1	2	1	1
	簡易専用水道	689	2	733	11	735	0
	小規模貯水槽水道等	1,806	0	2,204	0	2,190	1
	井戸等	—	1	—	5	—	3
建築物衛生関係	特定建築物	135	121	135	122	135	1
遊泳場関係	通年プール	18	28	17	49	16	1
	夏期プール	3	4	3	7	3	2
住宅宿泊事業法	届出住宅	—	—	—	—	9	0
その他の施設	化製場	3	0	3	0	3	0
	畜舎・家禽舎	25	3	25	1	26	1
	温泉利用施設	3	5	3	7	3	0
関連業務 ^{※1}	住居衛生関係	—	11	—	9	—	2
	ねずみ・衛生害虫駆除指導	—	82	—	65	—	10
	感染症対策	—	49	—	65	—	1
計		3,555	733	3,995	707	4,085	119

※1 関連業務には指導数も含む。他は監視数。

※2 クリーニング所には無店舗取次店を含む。R2年度の施設数の増加は、保健所設置に伴い、大阪府域を営業区域とする無店舗取次店を本市へ届出があったとみなしたため。

—:大阪府吹田保健所において、同種の業務を行っていないため、計上していない。

イ 違反処分の状況

該当なし

(3) 環境衛生事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

		手数料(円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
温 泉	利 用 許 可 申 請	35,000	2	2	0	
	承 継 承 認 申 請	7,400	0	0	0	
旅 館 業	許 可 申 請	22,000	1	1	1	
	承 継 承 認 申 請	7,400	0	0	0	
	事 業 譲 渡	16,300	—	—	0	
公 衆 浴 場	許 可 申 請	22,000	1	0	0	
	事 業 譲 渡	16,300	—	—	0	
興 行 場	許可申請	常 設	18,200	1	1	0
		常 設 以 外	8,900	0	1	1
	事業譲渡	常 設	13,500	—	—	0
		常 設 以 外	8,700	—	—	0
ク リ ー ニ ン グ 所	新 規 開 設	16,000	7	6	8	
	事 業 譲 渡	12,900	—	—	0	
理 容 所	新 規 開 設	16,000	5	4	10	
	事 業 譲 渡	12,900	—	—	0	
美 容 所	新 規 開 設	16,000	32	46	49	
	事 業 譲 渡	12,900	—	—	1	
営 業 関 係 証 明 願		300	—	—	3	
動 物 飼 養 場 許 可 申 請		8,200	1	1	1	
計			50	62	74	
令 和 2 年 度 収 入 済 額		1,124,900円				

一：大阪府吹田保健所において、同種の業務を行っていないため、計上していない。

イ 手数料を要しないもの

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
水道関係	—	—	51
特定建築物関係	—	—	62
建築物衛生管理業関係	—	—	13
温泉関係	1	4	0
旅館関係	1	7	11
興行場関係	1	0	0
公衆浴場関係	9	4	6
理容関係	21	41	19
美容関係	73	99	63
クリーニング関係	31	64	12
動物飼養場関係	0	0	0
住宅宿泊事業関係	—	—	0
計	137	219	237

—:大阪府吹田保健所において、同種の業務を行っていないため、計上していない。

ウ 大阪府からの事務委託等

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
温 泉	許可・承継承認申請	—	—	1
	工事完了・地位承継・廃止届出	—	—	1
	可燃性天然ガス濃度確認申請	—	—	0
	可燃性天然ガス濃度確認届出	—	—	0
遊 泳 場	開設許可申請	—	—	0
	変更・承継・供用開始・再開・休止・廃止届出書	—	—	9
クリーニング師	免許・受験に関する受理	—	—	2
建築物衛生管理業の登録申請	—	—	8	
計	—	—	21	

—:大阪府吹田保健所において、同種の業務を行っていないため、計上していない。

根拠:温泉法関係事務交付金交付要綱

大阪府遊泳場条例事務交付金交付要綱

クリーニング師試験及び免許事務交付金要綱

建築物衛生管理事業登録事務交付金交付要綱

環境衛生事務委託契約

(4) 苦情・相談処理状況

種 別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
営 業 関 係	30	5	31
飲 料 水 関 係	—	—	8
そ 族 昆 虫 駆 除 関 係	80	66	12
住 居 衛 生 関 係	6	6	0
住 宅 宿 泊 事 業 関 係	—	—	0
そ の 他	17	4	3
計	133	81	54

—:大阪府吹田保健所において、同種の業務を行っていないため、計上していない。

(5)衛生教育・啓発キャンペーン実施状況

該当なし

(6)現場検査実施状況(検査件数)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ダニ等昆虫の検鏡	15	15	1
残留塩素測定	97	80	19
住居内空気環境	0	0	0
合 計	112	95	20

(7)講習会実施状況

該当なし

(8)その他特記すべき事項

なし

3 狂犬病予防・動物愛護管理

狂犬病予防法等関係法令に基づき、飼い犬登録、狂犬病予防注射済票の交付等の事務を実施した。

狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律等関係法令に基づき、犬の捕獲、負傷動物の収容、飼い犬・飼い猫等の引取り及び苦情相談対応等を行った。

猫のみだりな繁殖に起因する生活環境被害等を低減させること等を目的に、飼い猫及び野良猫の避妊・去勢手術を行う市民を対象に手術費用の一部を助成するための補助金事業を実施した。

(1) 狂犬病予防

項目 年度	飼犬 登録頭数	新規登録頭数 (うち委託数)	注射済票交付件数 (うち委託数)	死亡届出 数	転出届出 数	転入届出 数
平成30年度	18,026	2,238(454)	10,287(6,647)	732	1,000	200
令和元年度	18,167	2,015(473)	10,077(6,802)	786	905	210
令和2年度	18,379	1,227(561)	8,921(6,083)	758	526	274

(2) 動物愛護管理(動物愛護管理業務の所管が始まった令和2年度以降の実績を掲載)

ア 犬猫に関する苦情相談件数

(令和2年度)

	捕獲依頼	負傷	引取り		行方不明	苦情				その他	計
			所有者から	所有者不明		環境被害	放飼い	遺棄虐待	咬傷事故		
犬	5	0	2	1	47	19	6	9	22	8	119
猫		25	12	28	148	100	0	7	0	29	349
その他		0	0	0	42	0	0	1	0	1	44

イ 犬猫の収容処分件数

(令和2年度)

項目 年度	収容					処分			
	捕獲	引取り	所有者不明引取り	負傷動物	計	返還	譲渡	殺処分	計
犬	1	2	1	0	4	2	2	0	4
猫		30	36	10	76	0	17	59	76

※殺処分の項目は自然死を含む。

(3) 飼い猫等の避妊・去勢手術費補助金の交付

項目 年度	実績件数					
	予算額	支出額	野良猫 (5,000円)	飼い猫 (2,500円)	総数	取消・辞退
平成30年度	1,000,000	990,000	158	80	238	52
令和元年度	1,000,000	972,500	156	77	233	44
令和2年度	1,000,000	972,500	137	115	252	47

地域保健課事務概要

地域保健課の業務は、結核、感染症、精神保健、難病、特定不妊治療医療費助成など多岐にわたり、地域住民の健康の保持・増進、疾病の予防に努めた。

1 結核予防(根拠法令 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)

(1) 健診及び相談業務

ア 接触者健康診断予防接種及び結核対策特別促進事業実施状況

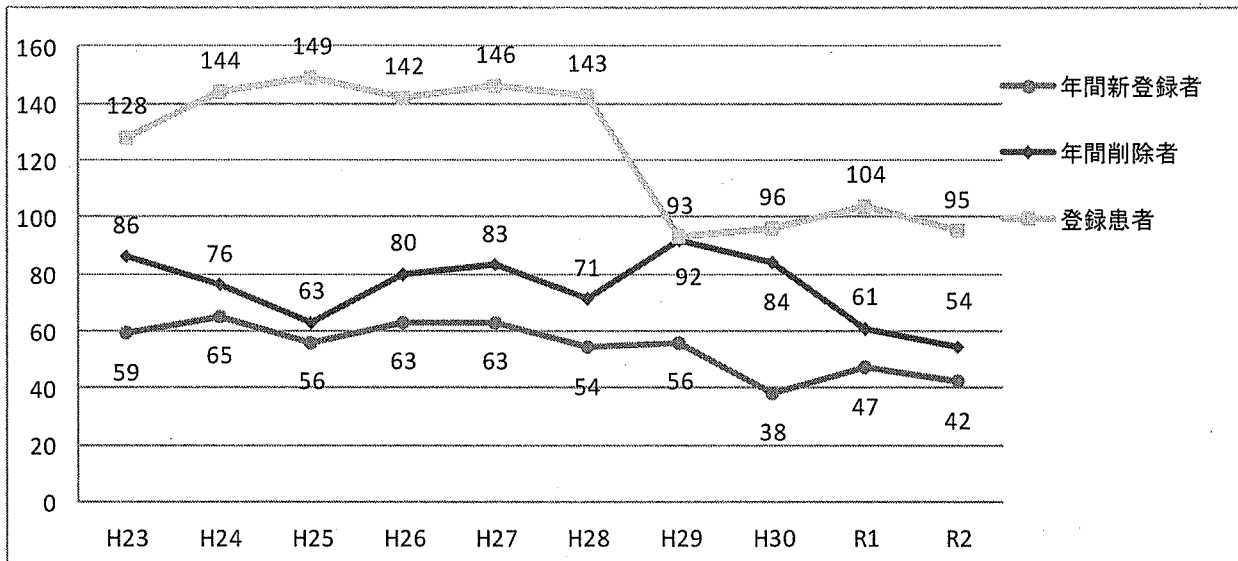
区分	実施箇所数	実施実人員		ツベルクリン反応		喀痰検査		QFT 検査		直接撮影		発見患者	潜在性結核感染症	
		保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託			
接触者健診	コソホ現象 陽転況	0										0	0	
	患者家族	47	5	0	2	0	0	24	3	45	5	0	3	
	患者接触者	170	10	0	0	5	0	164	8	112	9	1	3	
令和2年度計		0	217	15	0	2	5	0	188	11	157	14	1	6
平成30年度計		0	273	1	1	0	0	0	189	0	273	1	0	6
令和元年度計		0	164	4	0	0	0	0	115	0	171	4	1	9

イ 管内結核定期健康診断予防接種実施状況

項目		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度					計
				事業者	学校長	施設 の長	市町村長		
							乳幼児	その他	
ツベルクリン 反応検査	実施数	0	0	0	0	0	0	0	
	陽性者数	0	0	0	0	0	0	0	
B C G 接種数		3,329	3,121	0	0	0	3,038	0	3,038
間接撮影者数		3,636	6,486	2,895	1,258	472	0	0	4,625
直接撮影者数		58,627	44,839	17,715	6,003	355	0	24860	48,933
被発見 者数	結核患者	0	2	0	0	0	0	2	2
	結核発症の 恐れのある者	13	0	2	0	0	0	0	2

(2) 結核患者管理

ア 年間新登録患者数、登録削除者数及び登録患者数の推移(潜在性結核患者を除く)(人)



イ 登録患者の状況

(ア) 登録時総合患者分類コード別、年齢階級別新登録者数

区分	活動性結核					計	潜在性結核感染症 (別掲)	非定型抗酸菌陽性 (別掲)
	肺結核		活動性		肺外結核活動性			
	登録時喀痰塗抹陽性		登録時 その他の菌陽性	登録時 菌陰性・その他				
	初回治療	再治療						
0～4歳	0	0	0	0	0	0	1	0
5～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19歳	0	0	0	1	0	1	0	0
20～29歳	1	0	0	0	1	2	2	0
30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	1	0	0	0	1	2	1	0
50～59歳	1	0	0	1	0	2	2	0
60～69歳	1	0	0	2	1	4	3	0
70歳～	12	1	9	3	6	31	3	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0
計	16	1	9	7	9	42	12	0

(イ)活動性分類別受療状況別登録者数（令和2年末の状況）

区分	活動性結核					不活動性結核	活動性不明	計	潜在性結核感染症(別掲)	非定型抗酸菌陽性(別掲)
	肺結核活動性			肺外結核活動性	登録時菌陰性・その他					
	登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の菌陽性							
	初回治療	再治療								
入院	6	0	0	0	0	0	0	6	0	0
在宅医療	8	2	4	1	5	0	0	20	4	0
医療なし	0	0	0	0	0	64	7	71	18	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	14	2	4	1	5	64	7	97	22	0

(ウ)管理健診実施状況

対象数	勧奨数	受診者数				勧奨に対する受診率(%)
		保健所	委託機関	その他	計	
161	161	77	1	57	135	83.9

(エ)医療費公費負担状況(結核のみ)

区分		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		件数	申請に対する比(%)	件数	申請に対する比(%)	件数	申請に対する比(%)
通院患者 (37条の2)	申請	88	/	88	/	60	/
	合格	88	100	88	100	60	100
	公費負担承認	88	/	88	/	60	/
入院勧告 (37条)	申請	44	/	49	/	78	/
	合格	44	100	49	100	78	100
感染症診査協議会開催回数 (下記FAX診査回数は含めない)		24回 (毎月第2・第4火曜日)		24回 (毎月第2・第4火曜日)		24回 (毎月第2・第4火曜日)	
FAX診査(※)回数		44回		47回		15回	

※法第20条に基づく入院延長の適否について、簡易な方法で協議会へ意見聴取を行うもの

氏 名	役 職 名
阿部 欣也	会 長 市立豊中病院内科部長兼感染対策室長
橋本 重樹	副会長 市立池田病院 呼吸器内科主任部長
藤川 健弥	委員 (独法)兵庫中央病院 呼吸器内科医師
島 純子	委員 (一社)箕面市医師会 理事
宇治田 尚子	委員 元大阪府藤井寺保健所保健補佐
森田 理恵	委員 日本経済大学 商学部 准教授

(オ)結核対策医療機関オンライン講習会 ※吹田市医師会との共催事業

開催日時	講演テーマ	参加者
R3.2.3	「コロナ禍における結核診断及び結核医療の現状について」 講師:大阪府済生会吹田病院 副院長兼呼吸器センター長 竹中 英昭医師	73 医療機関

2 感染症予防(根拠法令 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)

(1)一類感染症、二類感染症及び三類感染症患者の発生状況

疾 病 名		医師からの 届出受理件数	集団発生の状況 その他特記事項
一類感染症		0	なし
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	なし
	ジフテリア	0	なし
	重症急性呼吸器症候群	0	なし
	結核	53	なし
三類 感染症	コレラ	0	なし
	腸管出血性大腸菌感染症	8	なし
	その他	0	なし
四類 感染症	レジオネラ	1	なし
	その他	4	なし
五類 感染症	梅毒	31	なし
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11	なし
	アメーバー赤痢	4	なし
	麻しん	0	なし
	その他	7	なし

(2)入院勧告及び措置等の状況(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(新型コロナウイルス感染症は除く)

入院勧告件数		入院措置件数		就業制限通知件数
応急入院	本入院	応急入院	本入院	
17	17	0	0	20

(3)患者同行者・接触者等への疫学調査・相談指導状況

疾病名	接触者等 人数	健康診断 勧告件数	健康診断 措置件数	検体 採取数	陽性数	相談指導 (延回数)
一類感染症	0	0	0	0	0	0
二類感染症(結核は除く)	0	0	0	0	0	0
三類 腸管出血性大腸菌感染症	10	4	4	9	0	82
四類感染症	0	0	0	0	0	0
五類感染症	0	0	0	0	0	0

3 性感染症予防(根拠法令:感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)

(1)血液検査実施状況

ア HIV抗原抗体検査及びHIV・AIDS相談

区分	相談件数		血液検査数
	電話	来所	
平成30年度	365	5	205
令和元年度	172	9	217
令和2年度	19	1	43

※新型コロナウイルス感染症の影響により、5か月間、血液検査を中止。

イ クラミジア同定DNA抗体検査

区分	血液検査数	陽性者数	陽性率(%)
平成30年度	186	7	3.8
令和元年度	197	9	4.6
令和2年度	43	4	9.3

ウ 梅毒血清反応検査

対 象	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	血液検査数	陽性者数	陽性率(%)	血液検査数	陽性者数	陽性率(%)	血液検査数	陽性者数	陽性率(%)
婚 前 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
妊 婦 の 夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一 般 個 人	201	6	3.0	211	4	1.9	43	1	2.3
H I V 検 査 と 同 時 受 検 者	201	6	3.0	211	4	1.9	43	1	2.3
計	201	6	3.0	211	4	1.9	43	1	2.3

4 生活習慣病予防（根拠法令：地域保健法）

(1) 肝炎・肝がん対策

ア 肝炎インターフェロン・インターフェロンフリー治療医療費助成件数

平成30年度合計	令和元年度合計	令和2年度					
		新規申請	2回目申請	変更申請	転入申請	2か月延長申請	6か月延長申請
66	51	28	1	0	0	0	0
		受給者証の返却	返戻書類の返却	再交付願い	取下げ願い	その他	
		0	0	0	0	0	

イ 肝炎核酸アナログ製剤治療医療費助成件数

平成30年度合計	令和元年度合計	令和2年度								
		新規申請	更新申請	変更申請	転入申請	受給者証の返却	返戻書類の再送付	再交付願い	取下げ願い	その他
234	244	20	97	3	1	0	0	2	0	0

※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、更新申請対象者の受給者証の有効期間を1年延長

5 母子保健(根拠法令:母子保健法、児童福祉法)

(1) 医療給付申請事務取扱状況

区 分	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	申請数	承認数	不承認数	申請数	承認数	不承認数	申請数	承認数	不承認数
結核児童療育	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不妊に悩む方への特定治療 支援事業	581	581	0	572	572	0	795	795	0

(2) 不妊治療専門相談(ひまわり相談)

実 施 回 数	4回	
相 談 人 数	11人	
内 訳	医 師 へ の 相 談	11件
	助 産 師 へ の 相 談	7件

6 精神保健

(1)精神保健指定医による措置診察状況

区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	申請又は通 報件数	措置入院と なった数	申請又は通 報件数	措置入院と なった数	申請又は通 報件数	措置入院と なった数
保護者の申請によるもの	0	0	0	0	0	0
警察官の通報によるもの	13	9	7	2	6	6
精神科病院の管理者の届出によるもの	0	0	0	0	1	0
医療観察法の規定による指定通院 医療機関の管理者及び保護観察所 の長からの通報によるもの	0	0	0	0	0	0

(2) 精神保健相談、訪問指導及び集団指導

ア 精神保健相談、訪問指導

区 分	平成30 年度 相談件数	令和元 年度 相談件数	令和2年度					
			相談件数	職種(重複あり)				
				ケース ワーカー	医 師	臨床心理	保健師	その他
相談実人員	479	487	482					
相談延件数	3,236	3,095	3170	2303	149	89	821	1
訪問実人員	154	170	141					
訪問延件数	490	540	391	286	30	0	115	0

イ 集団指導

対 象	実施状況	実施回数	対象 延人員	備 考
精神保健福祉家族教室	0回	0	0	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

ウ 自殺未遂者支援事業等実施状況

区 分	平成30年度 相談延件数	令和元年度 相談延件数	令和2年度 相談延件数
自殺未遂者相談支援事業	351	234	213

エ 自殺対策事業

事業名	日付	構成員等
吹田市自殺対策推進庁内会議 (書面開催)	令和3年2月	〈構成員〉庁内13部署の部長
吹田市自殺対策推進庁内会議 実務担当者会議	令和2年9月30日	〈構成員〉庁内14室課の実務担当者及び吹田市社会福祉協議会

吹田市自殺対策推進懇談会	令和2年11月4日	〈構成員〉あかり法律事務所、吹田市医師会、吹田市薬剤師会、吹田市社会福祉協議会、吹田市民生・児童委員協議会、大阪府こころの健康総合センター、公募市民
自殺未遂者相談支援事業	随時	相談延件数 213件
自殺未遂者相談支援事業 事例検討会議	令和2年9月28日 令和3年1月18日	〈講師〉なかむかしのクリニック河原医師
自殺予防対策研修会	令和2年10月28日	〈参加者〉吹田市内小中学教員等80名 〈講師〉関西医科大学 池田医師
ゲートキーパー養成研修 (大和大学)	令和2年12月3日	〈参加者〉大学生112名 〈講師〉地域保健課職員
市役所ロビーパネル展示	令和2年9月14日から18日 令和3年3月8日から12日	〈内容〉啓発パネルの展示及びリーフレット配架等
啓発リーフレット作成	① 令和2年9月 ② 令和3年3月	〈タイトル〉①「ひとりで悩まないで～こころの悩みなどの相談窓口一覧～」②「あなたもゲートキーパーになりませんか？」

オ その他の精神保健活動

区 分	内 容 (主題、実施方法)
普及啓発 (共催事業含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・市報すいたへの特集記事掲載 ・市役所ロビーパネル展示 ・保健所ホームページや吹田市公式 Twitter 等の SNS を活用した情報発信 ・市内各大学のイントラネットを活用した情報発信 ・啓発リーフレットの作成、ハートふれあいまつり等
専門教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー養成研修 ・自殺予防対策研修(小中学校教員等対象)
地域関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム圏域単位の会議 ・措置入院者等退院後支援事業 ・医療観察法ケア会議 ・精神保健に関わる連絡会議 ・吹田市生活困窮者自立支援連絡調整会議
他団体への援助、助言	家族会、断酒会、事業所等への支援等

7 難病対策（根拠法令 難病の患者に対する医療等に関する法律）

(1) 在宅難病患者訪問指導事業

ア 指定難病に係る医療給付申請受付及び個別援助実施状況

疾患群	新規受付	更新受付	相談件数	訪問件数
神経・筋疾患	148	0	160	374
血液系疾患	22	0	19	1
免疫系疾患	85	0	80	16
内分泌系疾患	9	0	9	0
代謝系疾患	6	0	6	4
循環器系疾患	13	0	11	1
呼吸器系疾患	17	0	18	2
消化器系疾患	77	0	73	0
皮膚・結合組織疾患	29	0	25	1
骨・関節系疾患	20	0	19	1
腎・泌尿器系疾患	23	0	17	0
染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	1	0	1	0
視覚・聴覚平行機能・耳鼻科系疾患	6	0	4	0
合 計	456	0	442	400

※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、更新申請対象者の受給者証の有効期間を1年延長

イ 特定疾患に係る医療給付申請受付及び個別援助実施状況

疾 患	新規受付	更新受付	相談件数	訪問件数
スモン、難治性肝炎のうち劇症肝炎 急性重症膵炎、プリオン病※	0	0	0	3

※ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）が対象

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

ア 専門相談実施状況

職 種	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	訪問延件数	訪問延件数	訪問延件数
理学療法士	0	2	0
作業療法士	3	0	3
言語聴覚士	6	7	5
そ の 他	0	0	0
合 計	9	9	8

イ 医療講演会

対象疾患	開催回数	視聴延人員	備考（内容等）
潰瘍性大腸炎	1	234	専門医による疾患と療養生活についての講義

※新型コロナウイルス感染症の流行により、今年度初めて、WEBによる講演会を実施。

(3) 在宅療養支援関係者会議等開催状況

会議名・検討事項	開催回数	参加延人員	備考
大阪北部地域神経筋難病医療ネットワーク会議	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
北ブロック保健所難病担当者会議	-	-	

8 放射線業務

(1) 保健所におけるエックス線撮影

接触者健康診断は、感染症法第17条及び本府の結核健診方針の趣旨をふまえ所内及び所外で胸部エックス線撮影を行っている。

ア 所内のエックス線撮影件数

区分	所内						
	開催回数	撮影件数					合計
		管理	家族	接触者等	集団発生(再掲)	施設利用等その他	
定例	24	66	35	39	(0)	0	140
定例外	19	8	10	73	(0)	0	91
令和2年度計	43	74	45	112	(0)	0	231
平成30年度計	47	90	43	230	(0)	0	363
令和元年度計	45	85	56	115	(0)	0	256

イ 所外のエックス線撮影件数

区分	所外（検診車による委託検診）						
	開催回数	撮影件数					合計
		管理	家族	接触者等	集団発生(再掲)	その他	
定例	0	0	0	0	(0)	0	0
定例外	0	0	0	0	(0)	0	0
令和2年度計	0	0	0	0	(0)	0	0
平成30年度計	0	0	0	0	(0)	0	0
令和元年度計	0	0	0	0	(0)	0	0

(2) 医療放射線管理業務

医療法第25条第1項及び立入検査要綱に基づき病院等の立入検査を実施し、適切な医療放射線管理の確保に努めた。

ア 立入検査（医療監視）

区 分	病 院	透析 診療所	療養病床 診療所	有床 診療所	他診療所	歯科 診療所
定例立入検査	0	0	0	0	0	0
定例外（臨時）立入検査	0	1	0	0	0	0
令和2年度計	0	1	0	0	0	0
平成30年度計	15	2	0	0	0	0
令和元年度計	15	0	0	1	0	0

※

イ 医療法に基づく許可・届出收受

区 分	X線装置	治療装置	密封線源治療	同位元素	治験薬等
放射線診療装置の許可申請	11	0	0	0	0
放射線診療装置の届出	117	2	0	9	0
令和2年度計	128	2	0	9	0
平成30年度計	115	5	0	9	0
令和元年度計	94	5	0	11	0

ウ 放射線関連相談業務

区 分	被ばく相談	施設（設備）相談	その他
平成30年度計	5	15	0
令和元年度計	6	11	0
令和2年度計	4	28	0

健康まちづくり室事務概要

(健康まちづくり室は保健所組織ではないが、健康まちづくり室が実施している吹田市健康増進法施行細則にかかる業務のうち、保健所長の権限に属する業務のみを記載)

1 栄養改善指導(根拠法令 健康増進法・食育基本法)

(1) 住民栄養指導

個別指導

対象区分	平成 30年度	令和 元年度	令和2年度				
			母 子		学 童 思春期	成 人 老人	計
			乳幼児	妊産婦			
一 般	4	1	0	0	0	2	2
循環器疾患及び悪性新生物	0	0	0	0	0	0	0
その他の疾患	0	1	0	0	0	0	0
難 病	7	5	0	0	0	0	0
計	11	7	0	0	0	2	2

(再掲含む)

(2) 特定給食施設等指導

ア 個別指導

		栄養士のいる 施設		栄養士のいない 施設		合 計		令和元 年度 指導数	平成 30 年度 指導数
		施設数	指導数	施設数	指導数	施設数	指導数		
特定給食施設	学 校	28	1	33	0	61	1	23	3
	病 院	13	1	0	0	13	1	26	25
	介護老人保健施設	7	0	0	0	7	0	6	4
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	—	—
	老人福祉施設	14	1	0	0	14	1	11	1
	児童福祉施設	31	0	13	0	44	0	19	9
	社会福祉施設	1	0	0	0	1	0	6	0
	事業所	4	0	12	0	16	0	49	24
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	自 衛 隊	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	1	0	0	0	1	0	0	0
	そ の 他	1	0	0	0	1	0	3	2
計	100	3	58	0	158	3	143	68	
その他の給食施設	学 校	1	0	15	0	16	0	2	0
	病 院	1	0	0	0	1	0	2	4
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	—	—
	老人福祉施設	8	0	0	0	8	0	4	0
	児童福祉施設	8	1	4	0	12	1	3	0
	社会福祉施設	7	0	2	0	9	0	1	0
事業所	1	0	6	0	7	0	5	1	

寄 宿 舎	0	0	7	0	7	0	1	0
矯 正 施 設	0	0	0	0	0	0	0	0
自 衛 隊	0	0	0	0	0	0	0	0
一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	5	0	2	0	7	0	0	1
計	31	1	36	0	67	1	18	6
小規模給食施設	4	0	1	0	5	0	1	0
合計	135	4	95	0	230	4	162	74

イ 管理栄養士必置特定給食施設数

	学校	病院	児童福祉施設	寄宿舍	事業所	一般給食センター	その他	合計
厚生労働大臣の指定基準該当施設数	5	8	0	0	0	1	0	14

ウ 集団指導

名 称	主 な 内 容	回 数	施設数	延人数
講習会	新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。			
合 計				

エ 給食研究会の指導

名 称	主 な 内 容	回 数	施設数	延人数
吹田市給食研究会	総会(書面開催)	1	73	73
	全体会	0	0	0
	役員会(3 役会のみ実施)	2	3	6
	施設種別学習会(他研究会開催分に参加)	1	1	1
	北ブロック代表者会議	0	0	0
合 計		4	77	80

(3) 食品表示(栄養関係)等の指導

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
業 者 へ の 指 導		5 回	0 回	23 回
府民への啓発普及	個人	0 人	0 人	0 人
	集団	—	—	—
健康食品関係への 合同監視指導	製造所	2 社	2 社	0 社
	販売店	1 店舗	1 店舗	0 店舗

